

276-452



276

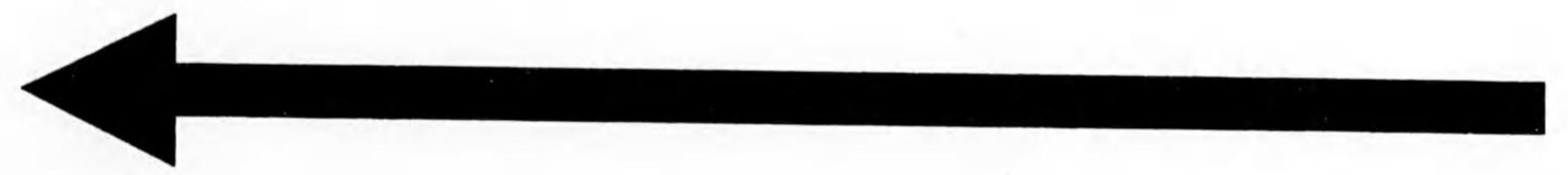
452

体育研究所概要

昭和八年十二月三十一日現在



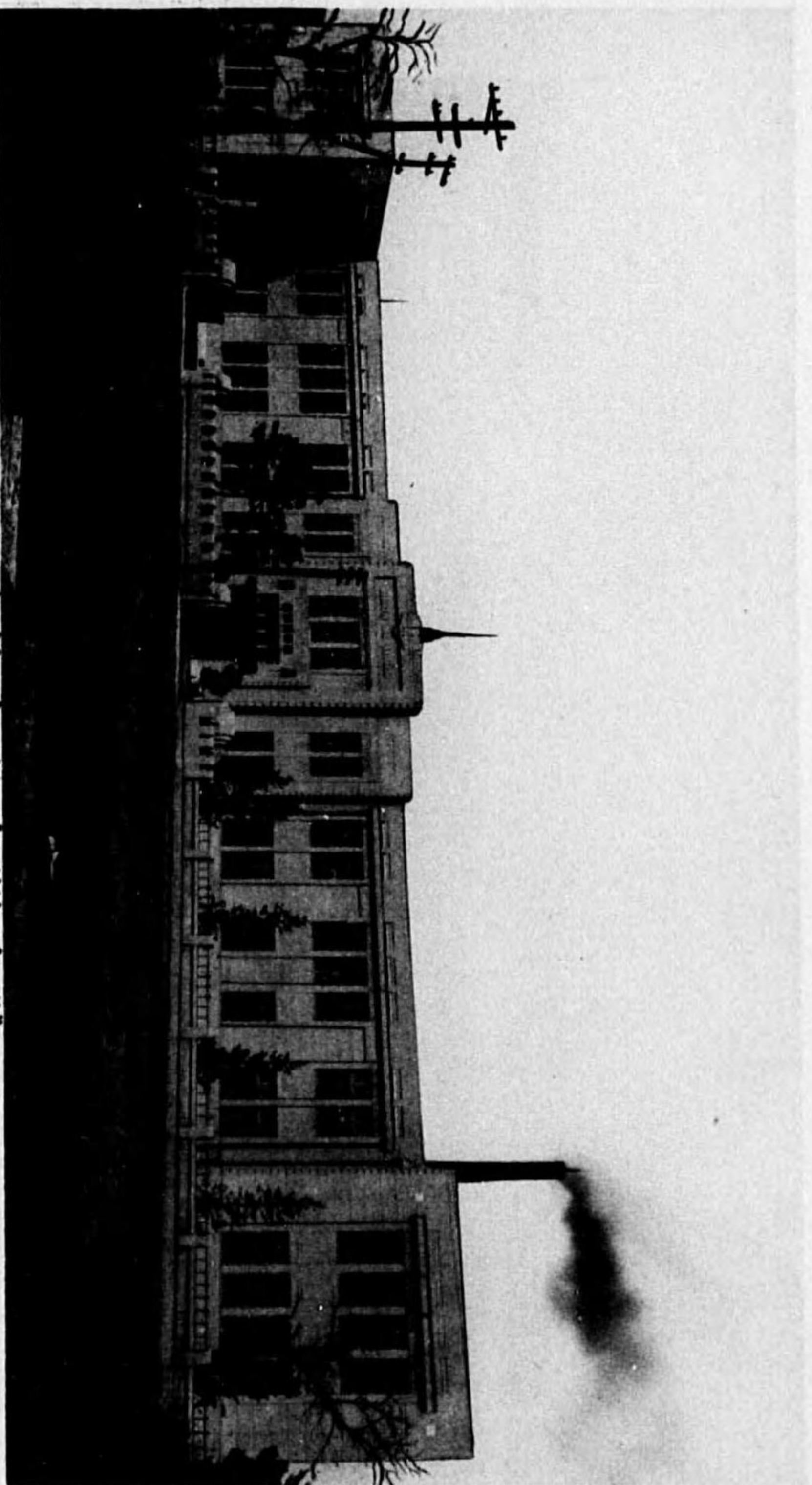
始



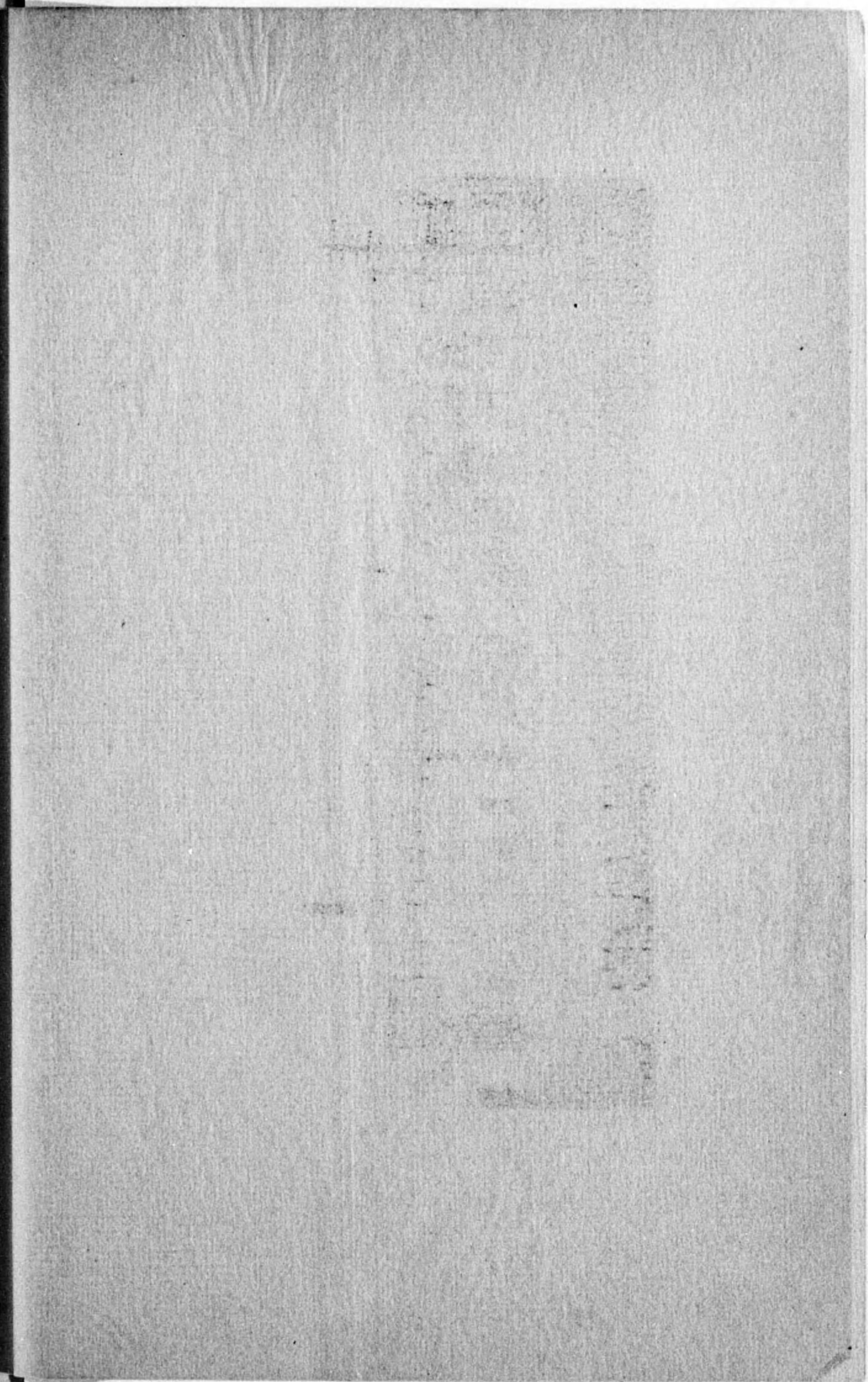
體育研究所概要

(昭和八年十二月
三十一日現在)

體育研究所



體育研究所正館面



體育研究所概要 (昭和八年十二月三十一日現在)

發行所寄贈本

目次

一、沿革 繪本所正面、同グラウンド 一五

二、官制 一七

三、諸規程 一七

(一) 所長職務規程 一七

(二) 支出委任(支出官) 一八

(三) 國有財産ノ管理 一八

(四) 體育研究所處務規程 一八

(五) 物品會計規程細則 三三



四、職員……………二六

五、設備……………三〇

(一) 建物……………三〇

(二) 屋外設備……………三一

六、事業……………三三

(一) 研究調查……………三四

1, 研究……………三四

2, 體育研究會……………三五

3, 各部研究會……………三五

4, 調查……………三六

5, 講話會……………三六

(二) 運動醫事相談……………三七

指導教授……………三七

1, 講習會……………三七

2, 研究生指導……………三九

昭和五十四年

附錄 本所平面圖(三枚)

3, 講演會……………	109
4, 職員ノ出張ニヨル指導教授……………	109
5, 體育相談部……………	109
(四) 出版……………	111

276-452.

體育研究所概要

大正十三年

一、創



日清、日露ノ兩戰役ヲ經テ、一躍世界列強ノ班ニ列シ、更ニ歐洲大戰ヲ經テ、世界ノ三大強國ト稱セラルルマデニ國位ヲ進メタル我が國ハ、世界ノ列強ト伍シテ全世界人類文明ノ嚮導ヲ爲スベキ責任アル國家ヲ形成スルニ至レリ。而シテ此ノ際四圍ノ現狀ニ顧ミテ、放任シ得ザル問題多々アリト雖モ、世界列強中最モ不良ナル狀態ニ在ル我が國民ノ體位ヲ向上シ、其ノ心身ノ平均能率ヲ高メ、其ノ元氣ヲ振作スル爲、國民體育ヲ根本的ニ研究シ其ノ改善ヲ圖ルハ、一時モ忽ニスベカラザル問題タリ。此ノ問題ハ國家ノ最モ緊要ナル一事業ナルヲ以テ、國民體育研究ノ一機關ヲ特設スルコトノ急務

ナルニ鑑ミ、文部省ニ於テハ大正五年早クモ本所設置ニ關シ調査ヲ開始シタルガ、爾來大正十一年ニ亘ル數年間ニ於テ各種ノ教育會議、學校長會議、學校衛生主事會議、帝國學校衛生會、全國聯合學校衛生會、學校衛生會、學校醫會、大日本醫師會、衆議院等ニ於テ內閣總理大臣、文部大臣宛ニ爲サレタル建議請願ハ著シク多數ニ上ルニ至レリ。殊ニ大正十一年二月十八日ヲ以テ衆議院ニ提出セラレタル建議案ハ八木逸郎、山田永俊、三浦得一郎、松下禧二、近藤達兒等十二名ノ代議士ニヨリ提出セラレ、賴母木桂吉、若尾璋八、西村丹治郎、仙波太郎、中野正剛、押川方義、砂田重政等四十四名ノ代議士ニヨリ賛成セラレタリシガ、同年三月二十五日ノ本會議ニ於テ八木委員長ノ報告通り可決セラレタリ。茲ニ於テ文部省ハ從來多年調査セシ所ニ據リテ案ヲ定メ、體育研究所設置ニ關スル新規要求豫算ヲ計上シ、同年十一月九日ノ閣議ニ於テ、其ノ承認ヲ經タリ。該豫算ハ同年第四十六議會ニ於テ、大正十二年度ヨリ同十三年度ニ至ル二箇年繼續ノ事業トシテ、遂ニ貴衆兩院ノ協賛ヲ經ルニ至レリ。

大正十二年七月二十五日東京市赤坂區青山南町六丁目實業家望月軍四郎氏ハ、本所ノ敷地トシテ、東京府下代々幡町大字代々木（現在ノ東京市澁谷區代々木西原町）ニ於テ、宅地、畑及ビ山林九千百二十一坪ヲ寄附シタルヲ以テ、文部省ハ直ニ建物其ノ他諸般ノ具體的設計（建坪約七百坪ノ二階建本館、約百四十八坪ノ平家建體操研究室ヲ始メ動物舍、機關室、附屬家等ノ建物ノ外、煖房、給水、瓦

斯、電燈裝置、周圍境界、地平均、排水等ニ關スルモノ）ヲ進メタリ。

本所建築工事ハ前述ノ如ク大正十三年度ニ完成スベキノ處、大正十二年九月一日ニ起リタル關東大震災ニ於テ、大打撃ヲ受ケ、同年十二月召集セラレタル臨時議會ニ於テ、大正十五年ニ至ル二箇年間工事繰延ベノ已ムナキニ至リタリ、工事ハ大正十三年二月三日ニ着手セラレ、研究室ノ一部タル體操研究室（男女浴室、更衣室、器具室ヲ含ム）、附屬館及ビ便所ノ三棟ハ同年五月十五日ヲ以テ竣工シ、一部ノ竣成ヲ告ゲタルヲ以テ、最小限ノ人員ヲ以テ、直チニ研究ヲ開始スルハ、時勢ノ要求ニ應ズル所以ナリ。即チ大正十三年十月二十五日、勅令第二百五十號ヲ以テ、本所官制公布セラレ、茲ニ多年ノ問題タル本所ノ創立ヲ見タリ。

一、十月二十五日、本所事務所ヲ文部省内ニ置カル。

一、十一月十九日、官制ニヨル職員ノ任命ヲ終リタリ。

大正十四年

一、三月二十一日、事務所ヲ文部省内ヨリ本所體操研究室内ニ移轉ス。

一、三月二十四日、本日ヨリ八日間全國官公私立專門學校程度諸學校體操科擔任教師ニ對シ、本所

ニ於テ第一回體育講習會ヲ開催ス。

一、五月二十日、本日ヨリ七日間東京府ノ委託ニヨリ東京府下公立高等女學校體操科擔任教師ニ對シ、體育講習會ヲ開催ス。

一、六月二十三日、岡田文部大臣來所アリ、所長ヨリ研究指導ノ現狀、方針、設備ノ狀態ヲ詳細ニ報告シ、所員ノ研究問題ヲ聽取セラレ、體操研究室ニ於テ體操ヲ、又目下建築中ノ本館及ビ屋外運動場等ヲ視察セラル。

一、七月十七日、河田大藏省主計局長以下 同局各課長來所ノ上研究並ニ設備ノ狀況ヲ視察セラル。

一、八月一日、本日ヨリ十日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。

一、十月二日、本館工事落成ス。

一、十一月四日、本日ヨリ八日間全國中學校體操科擔任教師ニ對シ本所主催體育講習會ヲ開催ス。

一、十一月十六日、事務所及ビ所員室ヲ本館ニ移ス。

一、十二月十五日、技手松井三雄心理學研究ノ爲獨逸國へ留學ヲ命ゼラル。(昭和二年十一月十一日歸朝)

一、十二月十五日、體育研究所研究生內規制定。

大正十五年 昭和元年

一、二月二十四日、本日ヨリ七日間、全國高等女學校及ビ實科高等女學校體操科擔任教師ニ對シ、

本所主催體育講習會ヲ開催ス。

一、三月二十五日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。

一、六月七日、本日ヨリ八日間東京府ノ委託ニヨリ東京府下小學校男教員ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。

一、六月十八日、本日ヨリ五日間新潟縣ノ委託ニヨリ同縣下中等學校體操科擔任教師ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。

一、六月二十二日、勅令第一八五號ヲ以テ官制改正セラレ職員ノ定員ヲ增加セラル。

一、六月二十五日、本日ヨリ十日間全國小學校教員中、特ニ本講習ニ適任ナル者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催ス。

一、七月五日、岡田文部大臣及田中文部政務次官來所視察セラル。

- 一、七月七日、本日ヨリ十日間、全國師範學校女子部、高等女學校教員中適任者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催ス。
- 一、七月十九日、本日ヨリ十日間、全國中學校、實業學校教員中本講習員トシ適任ナル者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催ス。
- 一、七月二十二日、壓力給水槽及ビ給湯裝置竣工ス。
- 一、七月三十一日、本日ヨリ十日間、全國師範學校男子部教員中本講習員トシテ適任ナル者ニ對シ、本所主催體操科改正教授要目講習會ヲ開催ス。
- 一、九月六日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、九月二十日、本日ヨリ十週間中等學校體操科教員免許狀所有者ニ對シ、本所主催第一回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、十月十九日、シヤム國皇族ダニ殿下御來所、視察セラル。
- 一、十月二十日、正門、通用門及ビ塀竣工ス。
- 一、十二月三日、本日ヨリ六日間、東京府ノ委託ニヨリ府下中等學校女教員ニ對シ、體育講習會ヲ開催ス。

- 一、十二月十一日、大正天皇御不例ニ付、高等官一同宮中ニ天機ヲ奉伺ス。
- 一、十二月二十七日、大正天皇崩御アラセラレタルニ付、高等官一同宮中ニ天機ヲ奉伺シ、判任官一同ハ文部省ニ參集シテ天機奉伺簿ニ署名ス。

昭和二年

- 一、一月十九日、本日ヨリ十日間專門學校程度諸學校體操科擔任男教員ニ對シ、本所主催體育講習會ヲ開催ス。
- 一、二月八日、大正天皇御大葬儀ニ付、本所員八名宮城前ニ於テ靈輜ヲ奉送ス。
- 一、三月一日、本日ヨリ六日間東京府ノ委託ニヨリ、府下青年體育指導者ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、三月三十一日、下水、排水裝置及ビ運動場地平均工事竣工ス。
- 一、四月十二日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、四月十九日、本日ヨリ十二週間本所主催第二回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、六月六日、本日ヨリ六日間東京府ノ委託ニヨリ府下小學校教員ニ對シ體育講習會ヲ開催

ス。

八

- 一、八月二十五日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、九月五日、本日ヨリ九日間東京府豊多摩郡教育會ノ委託ニヨリ同郡小學校男教員ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、九月二十日、本日ヨリ十二週間本所主催第三回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、十二月二十日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。

昭和三年

- 一、一月十日、本日ヨリ七日間本所主催女子中等學校體操科擔任女教員ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、六月五日、技師佐々木等體育ニ關スル研究ノ爲獨逸國、佛蘭西國、英吉利國、和蘭國、丁抹國及亞米利加合衆國へ在留ヲ命ゼラル。(昭和四年三月三十日歸朝)
- 一、四月二十三日、本日ヨリ十二週間本所主催第四回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、八月一日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。

- 一、九月十日、本日ヨリ六日間東京府ノ委託ニヨリ府下男子中等學校體操科擔任教師ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。

- 一、九月十八日、本日ヨリ三ヶ月間本所主催第五回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、十二月二十日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。

昭和四年

- 一、二月二日、本日ヨリ七日間師範學校體操科擔任男教員ニ對シ本所主催體育講習會ヲ開催ス。
- 一、二月十三日、本日ヨリ七日間女子中等學校體操科擔任女教員ニ對シ、本所主催女子中等學校體育講習會ヲ開催ス。
- 一、四月十六日、技師安田守雄生化學研究ノ爲亞米利加合衆國へ在留ヲ命ゼラル。(昭和七年三月十日歸朝)
- 一、六月八日、技師吉田章信體育ニ關スル衛生學研究ノ爲英吉利國、佛蘭西國、獨逸國及亞米利加合衆國へ在留ヲ命ゼラル。(昭和五年一月三日歸朝)

九

- 一、六月十七日、黒田大藏次官以下同局課長四名來所ノ上、研究並ニ設備ノ狀況ヲ視察セラ
ル。
- 一、六月十七日、本日ヨリ六日間東京府西多摩郡教育會ノ委託ニヨリ同郡小學校男教員ニ對シ體
育講習會ヲ開催ス。
- 一、六月二十四日、本日ヨリ六日間東京府ノ委託ニヨリ府下中等學校體操科擔任男教員ニ對シ體育
講習會ヲ開催ス。
- 一、四月十七日、本日ヨリ三ヶ月間本所主催第六回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、七月十六日、小橋文部大臣來所視察セラル。
- 一、八月一日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニヨリ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、九月二十五日、本日ヨリ三ヶ月間本所主催第七回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、十一月九日、第一回體育研究會ヲ開催ス。
- 一、十二月十一日、囑託松元稻穂歐米ニ於ケル體育運動ノ調査ヲ囑託セラル。
- 一、十二月二十日、本日ヨリ五日間日本體育聯盟ノ委託ニ依リ體育講習會ヲ開催ス。

昭和五年

- 一、二月十九日、本日ヨリ十日間本所主催幼兒體育講習會ヲ開催ス。
- 一、三月三日、ドレスデン衛生博覽會ニ本所事業紹介ノ寫眞ヲ出品ス。
- 一、三月五日、本日ヨリ十日間本所主催工場其ノ他ノ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、三月卅一日、囑託小河原四郎歐米ニ於ケル體質學ニ關スル調査ヲ囑託セラル。
- 一、四月一日、支出官ヲ設置セラル。
- 一、四月十六日、本日ヨリ三ヶ月間本所主催第八回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、五月五日、文部省訓令ヲ以テ本所所長職務規程制定セラル。
- 一、七月十日、田中文部大臣來所視察セラル。
- 一、七月十五日、大麻文部參與官來所視察セラル。
- 一、七月十八日、處務規程及當直規程並ニ傭人被服給與規程ヲ制定ス。
- 一、七月二十四日、物品會計規程細則制定認可セラル。
- 一、九月二十二日、本日ヨリ五日間東京府豊多摩郡體育調查部長ノ委託ニヨリ同郡小學校男教員ニ

對シ體育講習會ヲ開催ス。

一一

- 一、十月八日、第二回體育研究會ヲ開催ス。
- 一、十月三十日、本日ヨリ六週間本所主催第九回長期講習會ヲ開催ス。

昭和六年

- 一、一月廿一日、本日ヨリ八日間本所主催小學校長體育講習會ヲ開催ス。
- 一、四月十七日、本日ヨリ三ヶ月間本所主催第十回長期講習會ヲ開催ス。
- 一、五月十九日、本日ヨリ四日間本所主催學校衛生技師體育講習會ヲ開催ス。
- 一、五月十九日、文部省訓令第一八號ヲ以テ體育研究所ニ其ノ所管國有財産ノ管理ヲ命ゼラル。
- 一、六月十八日、運動場擴張ノ爲隣接地百八十七坪購入ス。
- 一、八月二十八日、運動場擴張工事竣工ス。
- 一、九月十一日、本日ヨリ六日間東京府豊多摩郡體育調查部長ノ委託ニヨリ同郡小學校女教員ニ對シ體育講習會ヲ開催ス。
- 一、十月七日、第三回體育研究會ヲ開催ス。

- 一、十月十三日、射弓場工事竣工ス。

- 一、十月十四日、運動場地平均工事竣工ス。

- 一、十月十九日、質疑應答ヲ體育相談部ト改メ體育ニ關スル相談質疑ニ應ジ適當ナル指導ヲナスコトトス。

- 一、十月三十日、本日ヨリ六週間本所主催第十一回長期講習會ヲ開催ス。

- 一、十一月十三日、トラツク、フキールド及跳躍場竣工ス。

- 一、十一月十三日、運動場周圍金網柵竣工ス。

- 一、十一月三十日、屋外運動場スタンドノ一部竣工ス。

昭和七年

- 一、二月二十二日、本日ヨリ六日間、本所主催女學校長、女子師範學校長體育講習會ヲ開催ス。

- 一、三月三十一日、所長北豐吉退職。

- 一、三月三十一日、文部大臣官房體育課長文部書記官男爵山川建所長事務取扱ニ任ゼラル。

- 一、五月二十日、處務規程改正、心理學教育哲學部ヲ心理學部、教育學部ノ二部トナス。

一三

一、五月二十五日、技師大谷武一、北亞米利加合衆國並ニ歐洲各國へ出張ヲ命ゼラル。(昭和七年九月

五日歸朝)

一、六月一日、技師小笠原道生、體育ニ關スル醫學、特ニ生理學研究ノ爲獨逸國ニ在留ヲ命ゼラル。

一、八月二十九日、井戸及井戸上屋竣工ス。

一、九月十二日、運動場用手洗場竣工ス。

一、十一月二十六日、本日ヨリ二日間第四回體育研究會ヲ開催ス。

一、十一月二十九日、屋外運動場擁壁ノ一部竣工ス。

昭和八年

一、四月十二日、勅令第五十七號ヲ以テ官制改正セラレ職員ノ定員ヲ増加セラル。

一、四月十七日、本日ヨリ六日間本所主催師範學校男教員體操講習會ヲ開催ス。

一、五月三日、文部省主催體育運動主事會議ノ中本所ニ關スル事項ヲ本所ニ於テ開催ス。

一、七月十二日、本日ヨリ八日間本所主催高等學校高等科體操科教授要目講習會ヲ開催ス。

一、十月十一日、處務規程改正、運動醫事相談部ヲ新設ス。

一、十月二十五日、運動醫事相談部事業開始ス。

一、十一月四日、本日ヨリ二日間第五回體育研究會ヲ開催ス。

一、十一月七日、本日ヨリ八日間本所主催運動醫事講習會ヲ開催ス。

二、官制

體育研究所官制

(大正十三年十月二十五日
勅令第二百五十五號)

〔沿革〕 大正十五年六月勅令第一八五號、昭和八年四月勅令第五七號改正

第一條 體育研究所ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ體育ニ關スル調査研究及指導教授ヲ掌ル

第二條 體育研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長
技師 專任 七人 奏任

書記 專任 三人 判任
技手 專任 七人 判任

前項定員ノ外九人以内ノ無給技手ヲ置クコトヲ得

第三條 所長ハ技師ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

所長ハ文部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ所長ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル

第五條 書記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第六條 技手ハ上官ノ命ヲ承ケ所務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三、諸規定

(一) 所長職務規程

體育研究所長職務規程 (昭和五年五月五日
文部省訓令)

第一條 所長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具シテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 所長ハ文部大臣ノ許可ヲ經テ囑託員ヲ置クコトヲ得

第三條 所長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四條 左ノ事項ハ所長之ヲ專行スヘシ但シ第六號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 事務ノ分課及職員ノ事務擔任ヲ定ムルコト

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四 技師以下ノ内國各地出張ニ關スルコト

第五 技師以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六 囑託員ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七 講習會ノ開催及其ノ講師依囑ニ關スルコト

第八 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第五條 前條ニ掲ケタルモノノ外ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

(二) 支出委任 (支出官)

昭和五年四月一日文部大臣ハ體育研究所長ニ會計法第十五條ニ依リ小切手ノ振出ヲ委任セラル。

(三) 國有財産ノ管理

昭和六年五月十九日文部省訓令第十八號ヲ以テ體育研究所ニ其ノ所管國有財産ノ管理ヲ命セラル。

(四) 體育研究所處務規程 (昭和五年七月十八日)

〔沿革〕 昭和七、五、二〇、同八、一〇、一一、改正

第一章 總 則

第一條 所務ハ總テ所長ノ裁決ヲ經テ施行ス

第二條 部長ハ所長ノ指揮ヲ承ケ所管ノ事務ヲ掌理シ部員ヲ指揮監督シ意見アル時ハ所長ニ具申ス
部員ハ當該部長ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ニ従事ス

但シ所長ノ命ニヨリ部長、部員ハ他ノ部ノ事務ニ従事スルコトアルヘシ

第三條 部長事故アルトキハ所屬上席者其ノ事務ヲ代理シ其ノ後遲滞ナク部長ニ報告スヘシ
但シ時宜ニヨリ特ニ代理者ヲ命スルコトアルヘシ

第二章 所務分掌

第四條 所務ヲ分チテ庶務部、解剖學部、生理學部、衛生學部、化學部、運動醫事相談部、心理學部、教育學部、體操部、遊戯部、競技部ノ十一部トス

第五條 各部ニ部長ヲ置ク所長之ヲ命ス

第六條 各部ノ分掌事務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 庶務部

一 官印ノ保管ニ關スル事項

二 文書ニ關スル事項

- 三 人事ニ關スル事項
- 四 會計ニ關スル事項
- 五 右ノ外他部ニ屬セサル事項
- 二 解剖學部
 - 一 體育ニ關スル解剖學上ノ調査研究及指導教授
- 三 生理學部
 - 一 體育ニ關スル生理學上ノ調査研究及指導教授
- 四 衛生學部
 - 一 體育ニ關スル衛生學上ノ調査研究及指導教授
- 五 化學部
 - 一 體育ニ關スル化學上ノ調査研究及指導教授
- 六 運動醫事相談部
 - 一 運動醫事相談ニ關スル事項
- 七 心理學部

- 一 體育ニ關スル心理學上ノ調査研究及指導教授
- 八 教育學部
 - 一 體育ニ關スル教育學上ノ調査研究及指導教授
- 九 體操部
 - 一 體操ニ關スル調査研究及指導教授
 - 二 教練ニ關スル調査研究及指導教授
 - 三 武道ニ關スル調査研究及指導教授
 - 四 水泳ニ關スル調査研究及指導教授
 - 五 其ノ他遊戯部及競技部ニ屬セサル諸運動ニ關スル調査研究及指導教授
- 一〇 遊戯部
 - 一 競争遊戯ニ關スル調査研究及指導教授
 - 二 唱歌遊戯ニ關スル調査研究及指導教授
 - 三 行進遊戯及舞踊ニ關スル調査研究及指導教授
 - 四 球技ニ關スル調査研究及指導教授

一一 競 技 部

- 一 走技ニ關スル調査研究及指導教授
- 二 跳技ニ關スル調査研究及指導教授
- 三 投技ニ關スル調査研究及指導教授
- 四 競技會管理ニ關スル調査研究及指導教授
- 五 運動競技場ニ關スル調査研究及指導教授

第三章 研究 調 査

第七條 各部ノ研究調査事項ハ部長之ヲ選定シ所長ノ決裁ヲ經ヘシ

但シ場合ニヨリテハ所長ヨリ事項ヲ定メテ研究調査ヲナサシムルコトアルヘシ

第八條 研究及調査完了ノ上ハ其都度所長ニ報告スヘシ

前項ノ研究及調査ノ成績ヲ發表セントスルトキハ所長ノ許可ヲ受クヘシ

第四章 服 務

第九條 職員ノ所屬ハ所長之ヲ命ス

第十條 職員病氣其他ノ事故ニヨリ出勤スルコト能ハサル時ハ事由ヲ具シ遲滯ナク届出ツヘシ

第十一條 職員出張シタル時ハ歸廳一ヶ月以内ニ復命書ヲ差出スヘシ

但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十二條 職員官廳其ノ他ヨリ本所ヲ經由セスシテ辭令ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷ニ關係アルモノハ其ノ

都度庶務部ニ届出ツヘシ

附 則

第十三條 本規程ニ定メタルモノノ他必要ナル規程ハ別ニ之ヲ定ム

(五) 物品會計規程細則 (昭和五年七月二十四日文部大臣認可)

第一條 物品ノ出納保管ハ物品會計規則並文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理ス

第二條 物品ハ之ヲ分チテ備品・消耗品ノ二種トシ其ノ種別ハ物品ノ性質用途等ニ依リ所長之ヲ定

第三條 物品ノ整理保管ヲ明カナラシムル爲各室ニ物品監守者及取扱主任者ヲ置ク

第四條 物品ノ出納命令ハ所長之ヲ發シ物品會計官吏之ヲ行フ

第五條 各室ニ於テ物品ノ支給及修理ヲ受ケントスルトキハ所定ノ物品請求用紙ニ必要事項ヲ記載シ物品會計官吏ニ提出スヘシ

製作及修理上特別ノ注意ヲ要スルモノ又ハ當業者ヲ選擇スル必要アルモノハ其ノ事由圖案及仕様書ヲ請求書ニ添付スヘシ

第六條 備品ヲ購入シタルトキハ物品會計官吏及請求者立會ノ上之ヲ檢收シ檢收シタル備品ハ之ニ所名記號番號ヲ付シ物品監守者ニ引渡スヘシ

第七條 生産又ハ寄贈ニ係ル物品ハ其ノ品名、數量、價格若クハ評價ヲ附シ藏置又ハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第八條 甲物品監守者ノ監守スル物品ニテシ不用トナリタルモノ乙物品監守者ニ於テ必要トスル場合ハ甲乙物品監守者ヨリ其ノ旨ヲ物品會計官吏ニ通知シ監守替ヲナスコトヲ得

第九條 不用トナリタル物品ハ當該物品監守者ヨリ物品會計官吏ニ返付スヘシ

物品會計官吏前項ノ物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ所長ノ決裁ニ依リ夫々處理スヘシ

第十條 物品ヲ紛失シ又ハ毀損シタルトキハ當該監守者ハ直チニ物品會計官吏ヲ經テ所長ニ申報シ指揮ヲ仰クヘシ

第十一條 物品ハ左ノ各號ニ依リ物品會計官吏之ヲ監督スヘシ

一 備品ハ毎年一回備品支給簿ト備品監守簿ト對照シ尙現品ニ就キ照査スルコト

二 消耗品ハ毎年一回消耗品出納簿ト消耗品支給簿ト對照シ尙現品ニ就キ照査スルコト

第十二條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明ニスル爲左ノ帳簿ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

一 備品出納簿

五 圖書出納簿

二 備品支給簿

六 新聞雜誌支給簿

三 消耗品出納簿

七 郵便切手受拂簿

四 消耗品支給簿

八 乘車券受拂簿

第十三條 物品監守者ハ物品ノ出納保管ヲ明ニスル爲物品監守簿ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ但シ圖書ニ關スル物品監守簿ハ圖書出納簿ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第十四條 所長ハ職員中ヨリ毎年物品檢閲委員若干名ヲ命シ必要ニ應シ左記要項ニ付各室ノ物品ヲ檢閲セシム

一 物品保管ノ適否

二 物品亡失毀損ノ有無

囑

庶務部員
 運動醫事相談部員
 同
 體操部員
 遊藝部員、競技部員
 心理學部員 (無給)
 託
 庶務部長
 心理學部員
 生理學部員
 化學部員
 運動醫事相談部員
 競技部員
 體操部員 (無給)

化學部員 (無給)
 心理學部員 (無給)
 體操部員 (無給)
 同 (無給)
 解剖學部員 (無給)
 衛生學部員 (無給)
 同 (無給)
 競技部員 (無給)
 解剖學部員 (無給)
 教育學部員 (無給)
 體操部員 (無給)
 化學部員 (無給)
 心理學部員 (無給)

醫學士
 長谷川治平
 松山貫一
 富名腰義豪
 酒井將
 鹽澤幹
 谷本揆一
 文學士
 山口一矩
 小林晃夫
 松岡松太
 山來實
 中島博子
 坂入虎四郎
 松元稻穂
 千葉藥學士

醫學博士
 吾妻俊夫
 內田勇三郎
 中谷重治
 森安秀
 深作安文
 小河原四郎
 小竹茂代
 竹內茂
 稻玉信吾
 田中婦美子
 秋田善雄
 樺山義雄
 安東熊夫
 高田守道
 文學士
 本田實昌
 醫學士
 醫學博士
 醫學博士
 醫學博士
 醫學博士
 文學博士
 文學士

(13) フライイングリッダー

(14) 斜吊繩

三二

3. 動物室

本館ノ東側ニ在リ、木造平家建ニシテ坪數二十四坪ナリ、昭和八年三月ソノ一部ヲ仕切リテ木工場トナシ、旋盤、帶鋸、鉋、各一機ヲ据付ケテ、體育用器具ノ研究製作ヲナスコト、セリ。

4. 附屬家

本館ノ裏手ニ隣接シ、木造二階建、二階七坪階下十四坪、延坪二十八坪ヲ算ス。

5. 便所

本館ト體操研究室トノ中間ニ在リ木造平家建五坪ナリ、又屋外ニハ木造平家建一坪七合五勺ノモノヲ體操研究室ノ北方近クニ設ク。

6. 渡廊下

本館ト體操研究室及ビ便所トヲ連結スルモノニシテ、木造平家建九坪八合五勺四ナリ。

7. 給湯汽罐室

本館ト體操研究室トノ中間ニアリ、木造平家建四坪、體操研究室ノ浴水ヲ蒸氣ニテ沸ス設備ニシテ、バーチカルボイラー、ウオシングトンポンプ、溫水タンク其他ノ設備ヲ有ス。

8. 井戸ポンプ上家、木造平家建一坪。

9. 壓力水槽室、木造平家建六坪。

右二ハ本館ノ後方ニ近ク位置シ、給水用ノ設備トス。

(二) 屋外設備

1. 鐵棒

體操研究室ノ南方ニ在リ、四欄ヲ具ヘ、砂場ノ廣サ 5.5m x 7.3m ナリ。

三三

2. 庭球場

二面本館ノ東方低地ニ在リ、軟球用、硬球用各一面ヅ、ナリ。

3. 弓道場

本館ノ東方低地ニアリ建坪十六坪二合五勺ヲ有ス。

4. 運動場

本館ノ北方ニ在リ面積約五千坪ノ所ニ三〇〇米ノ「トラック」、「フキールド」、及跳躍場並ニ「スタンド」ヲ新設シ周圍全部ニ亘リ鐵網柵ヲ設置ス。

六、事業

(一) 研究調査

1. 研究

所員研究事項ニシテ己ニ完成報告セラレタルモノ左ノ如シ。

括弧内ハ發表シタル雜誌名其ノ他ナリ。

(9.)	(8.)	(7.)	(6.)	(5.)	(4.)	(3.)	(2.)	(1.)
競走發走ニ於ケル反應時間ノ研究	身體發育ノ民族的固有性ニ就テ	身長、體重及ビ頭圍測定成績ノ綜合的觀察ニ基ク日本人	日本壯丁ノ體格ニ關スル統計的研究	日本人ノ身長、體重及ビ頭圍ノ發育ニ關スル研究	鹽類ニヨル澱粉ノ作用ニ就テ	運動ノ律動ニ關スル研究	體育ニ關スル統計的研究	體研ボール第一種
(昭和三年心理學研究第三卷第二輯)	(醫事公論第七五號)	(學雜誌第四七八號)	(大正十五年社會醫學雜誌第四六六・四六七號)	(大正十五年十一月第三回汎太平洋學會)	(大正十五年十月)	(大正十五年三月學校衛生第六卷第三號)	(大正十四年社會醫學雜誌第四六六・四六七號)	(大正十四年七月學校衛生第五卷第七號)
.....
囑託	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師
中村弘道	吉田章信	吉田章信	吉田章信	吉田章信	安田守雄	松井三雄	吉田章信	秋田善章



(18.)	(17.)	(16)	(15.)	(14.)	(13.)	(12.)	(11.)	(10.)
日本壯丁ノ體格ニ關スル統計的研究(第二報ノ一部分)	神經毒ニヨル血液乳酸量ノ變化ニ就テ	運動ニヨル二、三血液並ニ尿成分ノ變化ニ就テ	關スル知見補遺(第一回)	「ダウンポルト」ノ所謂「體格ノ最良指數」ニ就テ	日本人體ノ質量比例ニ就テ	血液酵素結合力ニ就テ	運動ト酵素(其ノ一)カタラーゼ、ペルオキシダーゼ及ビ	「ストツプウオッチ」ニヨル時間測定ニ關スル一實驗
(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年東京醫學雜誌第四十三卷第二號)	(昭和四年慶應醫學第九卷第一號)	(昭和三年教育心理研究第三卷第五號)	(昭和三年四月教育思想研究第一卷第二輯)
技師	囑託	技師	技師	技師	技師	技師	技師	囑託
吉田章信	山來實	山來實	小笠原道生	秋田善雄	秋田善雄	高岡重雄	阿部芳甫	清水直三郎

(30.)	(29.)	(28.)	(27.)	(26.)	(25.)	(24.)	(23.)	(22.)	(21.)	(20.)	(19.)
學齡兒童ノ身體各部發育及ビ比例ニ關スル研究	精神發達ニ應ズル轉導反應時間ノ變化	スポーツノ心理學的解釋	作業曲線ノ性質ニ就テ	運動ノ學習ニ關スル實驗	遊戲ト智能トノ關係	日本人ノ競技記録ノ變遷ニ就テ	痴愚ノ心理	運動ノ精神作業ニ及ボス影響(第一報)	運動ト身體的特徴及ビ智能トノ關係	體操ノ一考案	日本兒童ノ體力ニ就テ
(昭和五年東京醫學雜誌第四卷第一號)	(昭和四年兒童研究究所記要第十卷)	(昭和四年四月第二回日本心理學大會)	(昭和四年四月第二回日本心理學大會)	(昭和四年四月第二回日本心理學大會)	(昭和四年四月第二回日本心理學大會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)	(昭和四年四月第一回日本聯合衛生學會)
技師	囑託	技師	囑託	技師	技師	技師	囑託	技師	技師	技師	技師
秋田善雄	内田勇三郎	松井三雄	内田勇三郎	阿部芳甫	松井三雄	野口源三郎	内田勇三郎	阿部芳甫	松井三雄	北井三雄	吉田章信

(49.)	(48.)	(47.)	(46.)	(45.)	(44.)	(43.)	(42.)	(41.)	(40.)	(39.)	(38.)	(37.)	(36.)	(35.)	(34.)	(33.)	(32.)	(31.)			
血液型ト精神型(昭和六年優生學第八年八號)……………	學習ノ實驗的研究(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	幼兒ノ運動技能獲得ニ就テノ一實驗(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	素質型ニ關スル實驗的研究(第二報)(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	臨床心理學上ノ一方法トシテノ作業實驗(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	素質型ニ關スル實驗的研究(第二報)(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	人類受胎ト季節トノ關係(昭和六年民族衛生第一卷第一號)……………	練習條件ノ實驗的研究(昭和六年心理學研究第六卷第二輯)……………	競爭ノ實驗的研究(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	臨牀心理學上ノ一方法トシテノ作業實驗(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	素質型ニ關スル實驗的研究(第二報)(昭和六年四月心理學論文集第三回日本心理學大會報告)……………	日本壯丁ノ體格ニ關スル統計的研究(第二報)(壯丁身長統計ニ基ク日本人種ノ二元)(昭和六年民族衛生第一卷第一號)……………	日本兒童年齡及身長別標準體重表ノ作製並ニソノ活用ニ就テ(昭和六月學校衛生第十一卷第二號)……………	體研ボール第二種、第三種(昭和五年七月本所パンフレット)……………	心臟ノれんとげん研究(昭和五年慶應レントゲン學叢書八卷)……………	大阪、東京間四百哩マラソン競走ニ關スル研究(昭和五年四月)……………	大阪、東京間四百哩マラソン競走ニ關スル研究(昭和五年四月)……………	握力ニ關スル一實驗(昭和五年四月日本醫學大會)……………	素質型診斷トシテノ實驗心理學的方法(昭和五年四月日本醫學大會)……………	遊戯ニヨル性度ノ判定(昭和五年二月松本博士記念論文集)……………	大阪、東京間四百哩マラソン競走ニ關スル研究(昭和五年一月)……………	
技師	囑託	囑託	技師	囑託	囑託	技師	囑託	技師	囑託	技師	囑託	技師	囑託	技師	囑託	囑託	技師	囑託	技師		
松井三雄	山根 薰	山根 薰	谷本一郎	内田三郎	山根三郎	松井三郎	山根三郎	松井三郎	松井三郎	吉田章信	吉田章信	大谷武一	春名英之	奧山通世	高田守道	山笠原敏正	山田敏正	谷本三雄	本實昌	松井三雄	松井三雄

(60.) (59.) (58.) (57.) (56.) (55.) (54.) (53.) (52.) (51.) (50.)

學校ニ於テ肝油ヲ支給シタル成績 (第二報) (昭和六年七月帝國學校衛生第十一卷第七號)	技手	松林	錫三
破瓜期ニ於ケル身體發育 (昭和六年二月民族衛生學會)	技手	松林	錫三
本邦都市兒童ノ體格殊ニ其ノ狹長形ニ就テノ一觀察 (昭和六年臨牀醫學第十九卷第十二號)	技師	岩原	拓
第九回極東選手權競技大會出場選手體格報告 (昭和六年醫事公論第一〇二一—一〇二四號)	技師	吉田	章信
所謂「利キ眼」ニ就テ (昭和七年醫業ト社 會第二卷第一號)	技師	岩原	拓
運動能力ト筋力及體格トノ關係ニ就テ (昭和七年學校體育一月號)	技師	岩原	拓
本邦在學者ノ體格ノ變遷ニ就テ (昭和七年學校衛生第十二卷第一號)	技師	岩原	拓
ローレル氏身體充實度ニ關スル知見 (昭和七年學校衛生第十二卷第一號)	技師	岩原	拓
筋力測定ニ關スル研究 (昭和七年日新醫學第二十二年第五、六號)	技師	岩原	拓
鹽類ニヨル澱粉水解ニ就テノ本質的研究 (獨文) (一九二八年ジャナル、オプ、バイオケミストリー一〇卷二號)	技師	安田	守雄
セクレチンニ關スル研究 (獨文) (一九二九年ジャナル、オプ、バイオケミストリー一〇卷三號)	技師	安田	守雄

(72.) (71.) (70.) (69.) (68.) (67.) (66.) (65.) (64.) (63.) (62.) (61.)

コレステロール定量法 (英文) (一九三一年ジャナル、オプ、バイオ)	技師	安田	守雄
脂肪體ノ沃度數測定ニ就テ (英文) (同上)	技師	安田	守雄
脂肪體新陳代謝ニ就テ (英文) (一九三一年プロシージングス、オプ、ザ、ソサイエティ、フオア、エ)	技師	安田	守雄
日本人ノ體質特ニ身體作業能力ノ研究並ニ其ノ向上ニ關スル體育的考察 (昭和七年學校衛生第一二卷第七—一一號)	技師	吉田	章信
學校ノ運動場 (昭和七年體育ト競技五月號)	技師	佐々木	等等
籠球指導要項 (昭和七年學校體育七、八月號)	技師	佐々木	等等
古代オリムピックト現代オリムピック競技會 (昭和七年體育ト競技五、六、七月號)	技師	野口	源三郎
オリムピック競技ノ理想トソノ生命 (昭和七年體育ト競技八月號)	技師	野口	源三郎
日本選手ノスポーツマンシップ (昭和七年體育ト競技十一月號)	技師	野口	源三郎
歐米體育史講座 (昭和七年體育ト競技十二月號)	囑託	樺山	義雄
社會教育ヨリ觀タル遊戯場ノ問題 (昭和七年學校體育九月號ヨリ十二月號)	囑託	樺山	義雄
小學校體操科ニ於ケル「遊戯及競技」ノ一調査 (昭和七年小學校十二月號)	囑託	樺山	義雄

(85.) (84.) (83.) (82.) (81.) (80.) (79.) (78.) (77.) (76.) (75.) (74.) (73.)

運動ノ身體ニ及ボス永續的影響ニ就テ (昭七年十一月民族衛 生學會第二回學術大會).....	技師	吉田章信
磷脂質劃分中ノ燐含有量並ニクローム酸消費量ノ比較..... (昭七年十一月日本生化學會總會)	技師	安田守雄
血液及ビ尿酸ニ就テ、特ニ運動ニヨル影響 (昭七年十一月同上).....	技師	安田守雄
スポーツニ於ケル審判ノ心理 (帝國大學心理學教室編、心 理叢書二卷スポーツノ心理).....	技師	松井三雄
學校スポーツノ教育性 (昭七年體育ト競技十一月號ヨリ連載).....	囑託	加藤橘夫
中等學校野球ニ關スル調査.....	囑託	加藤橘夫
歐米生化學雜觀 (昭七年日本生化學會々報第七卷二二三號).....	技師	安田守雄
體育研究ト生化學 (昭七年體育ト競技十二月號).....	技師	安田守雄
體內ニ於ケル生理的調節作用 (昭七年女性美八、九、十、十一月號).....	技師	安田守雄
最近ノ世相ト體育觀 (昭七年體育ト競技七月號).....	技師	佐々木等
體育學科設置ト吾等ノ理想 (昭七年體育ト競技十月號).....	技師	佐々木等
籠球指導 (昭七年學校體育七、八月號).....	技師	佐々木等
男子中等學校生徒ノ心臟ノ大サ並ニ位相ニ關スル「レントゲン」		

(86.)

學的研究 (昭七年實驗醫學叢書第一四卷).....	囑託	稻玉信吾
筋行作ノ生化學的觀察		
(イ) 筋肉内諸種酸化化合物特ニクレアチン燐酸ノ變化ニ就テ (昭八年體育研究第一卷一號)		
(ロ) 運動ニヨル血液並ニ尿成分特ニ尿酸ノ變化ニ就テ (同上二號)		

(87.)

日本女子ノ體質ニ關スル研究		
第一篇 日本女子ノ身長、下肢長及ビ坐高ニ關スル研究.....	囑託	竹内茂代
(昭七年東京醫學會雜誌、第四六卷、第一二號)		

(93.) (92.) (91.) (90.) (89.) (88.)

胸圍不足者ニ就テ (昭八年東京醫學新誌、第二八一九號).....	囑託	竹内茂代
輓近ノビタミン研究瞥見 (一) (昭八年體育研究第一卷一號).....	技師	安田守雄
化學機關トシテノ人體 (抄錄) (昭八年體育研究第一卷二號).....	技師	安田守雄
ステロールノ沃度數測定ニ就テ (昭八年日本生化學會總會).....	技師	安田守雄
酸化法ニヨル糖、糖原ノ定量 (昭八年日本生化學會總會).....	囑託	安田守雄
糖原ノ運動生理化學的意義ト其ノ定量 (昭八年第五回體育研究會).....	技師	安田守雄

(104.)	(103.)	(102.)	(101.)	(100.)	(99.)	(98.)	(97.)	(96.)	(95.)	(94.)
蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導	蹴球ノ指導
兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ	兒童生徒ノ校外生活指導ニ於ケル團體遊戲ノ地位並ニ其教材ノ選擇ニ就テ
技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師
鹽澤	鹽澤	酒井	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	安田	安田	安田
幹	幹	將	等	等	等	等	等	雄	雄	雄

(113.)	(112.)	(111.)	(110.)	(109.)	(108.)	(107.)	(106.)	(105.)
體力國難	女教員ノ服裝問題	體操ノ精神	スポーツ道ノ考察	最近歐米ノ體育事情	東京郊外兒童ノ頭長、頭幅ノ發育及ビ比例ニ就テ	學齡兒童ノ身體各部發育及ビ比例ニ關スル研究	體質ト解剖學ト體育ニ就テ	日本女子ノ體質ニ關スル研究
技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師	技師
大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷
武	武	武	武	武	武	武	武	武
一	一	一	一	一	一	一	一	一

(124.)(123.)(122.)(121.)(120.)(119.)(118.)(117.)(116.)(115.)(114.)

懸垂運動用具トシテノ低鐵棒 (昭和八年體育研究第一卷第一號)	技師 大谷 武 一
世界ノ體育スポーツ (昭和八年教育八月號)	技師 大谷 武 一
獨逸體操カラ何ヲ學ブベキカ (昭和八年學校體育)	技師 大谷 武 一
「一人一運動」主義ノ提唱 (昭和八年體育研究第一卷第二號)	技師 大谷 武 一
低鐵棒ヲ利用シテ行ハレル簡單ナ連續運動 (昭和八年體育研究第一卷第二號)	技師 大谷 武 一
當時及非常時ト體育 (昭和八年體操十月號)	技師 大谷 武 一
海外ニ於ケル體操館 (昭和八年體操十月號)	技師 大谷 武 一
體操聯盟ノ活躍ニ對スル待望 (昭和八年體操十一月號)	技師 大谷 武 一
體育ノ必要ト體操ノ使命 (昭和八年體操十一月號)	技師 大谷 武 一
體育改善ノ根本問題 (昭和八年教育學研究十一月號)	技師 大谷 武 一
スポーツト民族性 (昭和八年科學知識)	技師 大谷 武 一

(134.)(133.)(132.)(131.)(130.)(129.)(128.)(127.)(126.)(125.)

運動會ノ指導精神 (昭和八年小學教育)	技師 大谷 武 一
乖離性素質者ノ作業障害實驗的研究 (昭和八年七月)	囑託 内田 勇 三 郎
兒童ノ遊戯ト諸性質トノ關係 (昭和八年第四回心理學大會及心理學論文集四)	技師 松 井 三 雄
都會兒童ノ遊戯ト田舎兒童ノ遊戯 (昭和八年第四回心理學大會及心理學論文集四)	囑託 小 林 晃 夫
ウォーミングアップニ關スル實驗的研究 (昭和八年第五回體育研究會)	技師 松 井 三 雄
運動ノ型ノ實驗心理學的研究 (昭和八年第五回體育研究會)	囑託 内田 勇 三 郎
智能ト運動及ビ體格トノ相關々係 (昭和八年第五回體育研究會)	囑託 小 林 晃 夫
兒童ノ遊ビ友達ニ關スル研究 (昭和八年體育研究第一卷第一號)	技師 小松 林 晃 三 夫
參加遊戯種目數ニ就テ (昭和八年體育研究第一卷第三號)	技師 小松 林 晃 三 夫
中等學校生徒ノ心臟並ニ體力ノ繼續觀察ニヨル興味アル數例報告	囑託 稻 玉 信 吾

(144.) (143.) (142.) (141.) (140.) (139.) (138.) (137.) (136.) (135.)

- アスリートノ夏ノ活用法ニ就テ (昭和八年體育ト競技八月號) …… 技師 野口源三郎
- 四百米レースニ四十九秒ヲ如何ニシテ切ルカ (昭和八年體育ト競技九月號) …… 技師 野口源三郎
- 中距離及ビ投擲技ノ不振ヲ如何ニシテ打開スルカ (昭和八年讀賣新聞十一月十七日十八日掲載) …… 技師 野口源三郎
- 明治神宮競技ノ回顧 (昭和八年陸上日本十一月號) …… 技師 野口源三郎
- 體育トシテノ競技運動ニ就テ (昭和八年教育八月號) …… 技師 野口源三郎
- アスリートノ冬ノトレーニングニ就テ (昭和八年學校體育十二月號) …… 技師 野口源三郎
- 應援團及ビ觀衆ノ統御法ニ就テ (昭和八年學校體育十二月號) …… 技師 野口源三郎
- チーム及ビプレーヤーノ品格 (昭和八年學校體育七月號) …… 技師 野口源三郎
- 最近ノスタート及ビスタートダツシニ就テ (昭和八年體育研究第一卷第一號) …… 技師 野口源三郎
- 跳躍技ノ指針 (昭和八年體育研究第一卷第二號) …… 技師 野口源三郎

(151.) (150.) (149.) (148.) (147.) (146.) (145.)

- 競技場ニ於ケル指導者ノ用語ニ就テ (昭和八年第五回體育研究會) …… 技師 野口源三郎
- 我が國陸上競技一流選手ノウォームアップニ就テ (昭和八年第五回體育研究會) …… 技師 野口源三郎
- 高等學校ニ於ケル體操科ノ評點 (昭和八年第五回應用心理學會) …… 囑託 永田進
- 高等學校ノ體育「體操科」ノ一調査報告 (昭和八年體育研究第一卷第一號) …… 囑託 永田進
- 體操科成績査定ノ理念 (昭和八年學校體育第十卷第二號) …… 囑託 永田進
- 永續的體育混合練習ノ大人身體ニ及ボセル影響並ニ本所長期講習員ノ身體狀況ニ就テ (昭和八年體育研究第一卷第一號) …… 技師 吉田章信
- 器械使用運動ノ實施所要時間 (昭和八年第五回體育研究會) …… 技師 酒井將

2. 體育研究會

本所ニ於テハ體育研究ノ氣運ヲ一般體育界ニ普及シ、我國全體ニ於ケル體育ノ研究ヲ促進スル目的ヲ以テ本所主催體育研究會ヲ年々開催シツ、アリ。

其ノ演題左ノ如シ。

尙各演說抄録ハ「體育研究會々誌」トシテ別ニ刊行セラル。

- (1) 第一回體育研究會 (昭和四年十一月九日、東京女子基督教青年會館ニ於テ開催)
1. 高校生ノ體育思想 江上秀雄
 2. 兒童遊園ノ「ブラン」ニ就テ 山本壽喜太
 3. 女學生ノ運動能力ト腹圍トノ關係ニ就テ 大重花子
 4. 運動體型ニ就テ 皆吉 質
 5. 走高跳ニ於ケル稀ナル骨傷ノ一例 皆吉 質
 6. 運動ニヨル二、三ノ身體的形質ノ變化ト其意義 八木高次
 7. ボールノ内壓ニ就テ 佐々木等
 8. 血液型ニヨル團體性ノ研究 古川竹二
 9. 聾啞生ノ體育 村上求馬
 10. 米國ノ女子體育界ニ就テ 河西初子
 11. 弓道ノ體育上ニ於ケル價值 根矢鹿兒
 12. 東京郊外兒童ノ身體發育ニ就テ 秋田善雄
 13. 運動ニヨル二、三血液並ニ尿成分ノ變化ニ就テ 安田守雄
 14. 本邦婦人ノ體位(第一報) 山來實雄
 15. 教員、生徒、兒童等ノ健康狀況ニ就テ 竹內茂代
 16. 體操科教授ノ實際的研究 須西永次郎
 17. トラツク競技ノ「トレーニング」ニ就テ 宮田覺造
 18. 努責ト體操 安田弘嗣

19. 遊戲規則ト其精神 本間茂雄
20. 學童ノ身體發育ニ就テ 岩原拓
21. 動作ノ左右比較 岩原拓
22. 血壓ニ關スル一實驗 小笠原道生
23. 練習經過ノ心理學的解釋 內田勇三郎
24. 最近考案ノ運動具ニツ 今井熊太郎
25. 小學兒童體格發育區分ニ就テ 島誠郁
26. 小學兒童ノ疾走力ト體格トノ關係ニ就テ 島誠郁
27. 本邦人ニ於ケル「シヂョーセルウマツクオリフ」體格型分類ノ應用特ニ身長及胸膈間距離(上腹長)ノ關係ニ就テ 島誠郁
28. 大キサノ知覺ニ關スル一實驗 谷本實一
29. 遊戲ニヨル性度判定ノ試ミ 松井三雄
30. 體力ト學力トノ關係 前島治吉
31. 拍子ト運動ニ就テノ一考察 富永たか
32. 律動體操 大谷武一
33. 人間教育ト遊戲指導 高島寬造
34. 握力計ニ關スル一實驗 山田敏正
35. 運動競技選手並ニ無爲競技者ノ體力測定成績ニ就テ 稻玉信吾
36. 運動競技選手ノ學校卒業後ノ健康狀態ニ就テ 稻玉信吾
37. 體操學習ノ形式 酒井將
38. 體操科教材ノ有機的組織ノ研究 杉本正信
39. 日本ニ於ケル競技記録ノ變遷ニ就テ 野口源三郎
40. 射教ノ體育ニ就テ 山田觀哉
41. 大學豫科生徒ノ入學ノ際ノ活力指數 五一

- ト爾後ノ學習狀況トノ關係
42. 運動練習過程ニ就テノ一考察 〔是〕 渡邊利衛
43. 運動ノ精神作業ニ及ボス影響 山根 薰
44. 腹本位體育運動ニ就テ 土永間三郎
45. 體育ハ獎勵スベク斷ジテ濫用スベカラズ 藤田靈濟
46. 女子ト家庭用按摩術ノ習得 星野孝三郎
47. 大阪東京間競走ニ於ケル實驗ニ就テ 熊谷主膳
48. 酸性食及ビアルカリ性食物ノ運動時ニ及ボス影響ニ就テ 〔小〕 笠原道生
〔外〕 高田守道
〔山〕 奧山通實
〔來〕 山田世道
49. 腕ノ運動ニ就テ 藤村トヨ
50. 競走ニ於ケル反應時間ニ關スル實驗 中村弘道
51. 體操科教授要目中ノ行進遊戲ニ就テ
52. 發育概評ノ適用ニ就テ 池田久光
53. 女子體育運動指導ノ一端 岡田藤十郎
54. 異常兒及虛弱兒ノ取扱トソノ矯正 小幡 安
55. 基礎アル者ノ練習標式 岩本岩次郎
56. 雙陸體育ニ就テ 前島治吉
57. 國民保健體操ニ就テ 千田民治郎
58. 運動競技者ノ體格ニ就テ 中谷重治
59. 椅座對机作業姿勢表示標準トシテノ座高三角法 大槻嘉男
60. 行進ニ關スル一考察 豐田順爾
61. 身體ト精神トノ相關々係ニ就テ 船曳富太郎
62. 動物體操 伊藤長七
63. 無呼吸時間測定ノ價值ニ就テ 稻玉信吾

- (2) 第二回體育研究會 (昭和五年十月八日東京女子基督教青年會館ニ於テ開催)
1. 運動家ノ筋肉指數 山田敏正
2. 跛行兒童ノ治療 熊谷主膳
3. 扁平足ニ關スル調査ト其ノ矯正法 岩本岩次郎
4. 摩擦運動ノ實際 杉本正信
5. 運動ノ精神作業ニ及ボス影響(第二報) 土永間三郎
6. 劍道練習ニヨル疲勞ノ實驗的研究 土永間三郎
7. 兒童ノ疾走力ニ關スル一實驗 〔小〕 笠原道生
〔宮〕 小笠原道生
〔川〕 宮川 扶
8. 兒童ノ胸廓ニ關スル研究 島 誠 郁
9. 東京市郊外兒童ノ胸圍ニ就テ(第一報) 秋田善雄
10. 學業成績ト關係的ニ見タル中學校生徒ノ體育運動調査次第ニ就テ 永田進
11. 運動練習ニ就テ 山根 薰
12. 生體ノ手掌面積及ビ足趾面積ニ關スル研究(第一報) 佐々木 等
13. 人體體形並筋力ノ局部的測定ニ就テ 宮原信吾
14. 第九回極東選手權競技大會出場選手ニ就テノ筋力測定 小笠原道生
15. 第九回極東選手權競技大會出場選手ノ體力ニ就テ 吉田章信
16. 勞働者體育ノ沿革及ビ現狀ニ就テ 弘田親輔
17. 兒童生徒ノ身長ニ關スル研究 酒井 將
18. 家庭體操ノ婦人體質ニ及ボシタル影響ニ就テ 竹内茂代
19. 女子身長及ビ體重ノ季節的發育狀況 松林 鎔三
20. 本邦在學者平均體格ノ變遷ニ就テ 岩原 拓

- 21. 各種體格指數ヲ以テ觀察セル本邦在學者ノ平均體格 岩原拓
- 22. 筋力測定ニ關スル研究(第一報) 岩原拓
- 23. 人力車夫ノ心臟ノ大キサニ就テ 〔稻玉〕 顯三
- 24. 任意ノ心搏動期ニ於テ撮影シ得ベキレントゲン寫眞裝置ノ考案ニ就テ 稻玉信吾
- 25. 運動中ニ突發スル骨折及ビ脱臼ノ應急處置ニ就テ 田代信徳
- 26. ストツプウオツチニヨル時間計測 (第二報) 松井三雄
- 27. セコンドウインドニ就テ 上田精一
- 28. ミュラーノ呼吸體操ニ就テ 下津屋俊夫

1. (3) 第三回體育研究會 (昭和六年十月七日東京女子基督教青年會館ニ於テ開催) 鹽澤幹

- 29. 水泳ト呼吸作用 太田正隆
- 30. 反應型ニ就テ 内田勇三郎
- 31. 體育ダンスノ指導ニ就テ 赤間雅彦
- 32. 自然歩行ニ就テ 大谷武一
- 33. ニールスブツクノ體操ノ見方ニ就テ 森 悌次郎
- 34. 本邦兒童生徒ノ身體發育ニ關スル研究 中島銳雄
- 35. 現代體育ノ趨勢ト吾人醫師ノ態度 飯森正夫
- 36. 日本兒童年齡、身長、體重相關表作成ニ就テ 吉田章信

2. 嬰兒體育ノ諸問題 西田長次郎
3. 脚氣ノ體育的豫防ト體育的治療 熊谷主膳

- 4. 跳躍運動ニ於ケル助走ト踏切ノ實際 三島省三
- 5. 體育運動ノ身體的構成ノ展望 杉本正信
- 6. 本郷區小學校男女教員ノ體型的比較 近藤政義
- 7. 兒童ノ榮養指數ノ考察 近藤政義
- 8. 體格指數ニ關スル知見補遺 岩原拓
- 9. 邦人ニ於ケル運動體型ノ研究 其二 (驛傳選手ノ體型ニ就テ) 八木高次
- 10. 長距離走者ノ體型ニ就テ 吉田章信
- 11. 兒童生徒ノ身長發育型ノ分類ニ就テ 島 誠郁
- 12. 體力ト學力トノ關係ニ就テ 武田義昌
- 13. 血液型ト學業成績ニ就テ 武田義昌
- 14. 學業成績ト遊戯トノ關係ニ就テ 松井三雄

- 15. 中學校生徒ノ體育調査(第二報) 永田進
- 16. 排球指導ニ就テ 萬代鹿造
- 17. ランニング初歩指導ニ就テ 成田國雄
- 18. 先賢ノ體育觀 飯塚晶山
- 19. 心臟力ノ簡易測定法ニ就テ 武田義昌
- 20. 力士ノ血行器ニ就テ 深山 泉
- 21. 身體位置變化ニヨル血壓及ビ脈搏數ノ變化 小笠原道生
- 22. 中等學校生徒籠球練習ノ心臟ニ及ボス影響ニ就テ 稻玉信吾
- 23. 余ノ考案セル心臟搏動及ビ脈波レントゲン線撮影機ニ就テ 稻玉信吾
- 24. 工場體操 赤間雅彦
- 25. 工場體育 黒木豊昉
- 26. 身體ノ調律訓練ト現代該教材並ニ教

- 27. 授上ノ反省 宮原義見
- 低學年體操科教材遊戲化ノ問題ト其ノ實際
- 28. 地方ニ於ケル體操科指導ノ實際 岩本岩次郎 小幡安
- 29. 生活環境ノ相違ニ因ル身體發育ノ特徵(主トシテ海拔一千米以上ノ高層山岳地帯ニ就テ) 延川靖
- 30. 高原保養學園ニ於ケル醫學的考察 野津勝 平東司謙 尾茂
- 31. 中等學校生徒體力測定成績 田中一萬
- 32. 生徒ノ身體検査、體力検査ノ調査狀況ニ就テ 田中一萬
- 33. 余ノ試ミタル檢尿成績ノ一端 星野孝三郎
- 34. 上下肢筋ノ衝擊力測定ニ就テ 宮原信吾
- 35. 自然歩ノ研究 大谷武一

- 36. 生體ノ手掌面積及足趾面積ニ關スル研究(第二報) 佐々木等
- 37. 體操ニ於ケル出發姿勢ト脊柱トノ關係 酒井將
- 38. 女生徒ノ學年別ニ依ル身長ニ就テ身長測定上ノ誤差ニ就テ 酒井將
- 39. 精神機能ノ健、不健ノ診斷ニ應用サル、心理學的一實驗 吉田信
- 40. 各種性能相互ノ關係 吉田信
- 41. 都會生活ガ情意ニ及ボス影響 內田勇三郎 谷本揆一
- 42. 破瓜期ニ於ケル身體發育 小林晃夫
- 43. 日本婦人ノ下肢長及坐高ニ就テ 松林鎔三
- 44. 我方國ノ競技運動場ニ就テ 竹內茂代
- 45. 我方國ニ於ケル陸上競技ノ發達ニ關スル調査(第二報) 坂上虎四郎 野口源三郎

職業ト體育

飯森正夫

48. 食事ト胸圍トノ關係ニ就テ

木村泉

- (4) 第四回體育研究會(昭和七年十一月二十六及二十七日體育研究所ニ於テ開催)
- 1. 自然歩ノ研究 酒井將
- 2. 學校球技ノ季節的指導ニ就テ 鹽澤幹
- 3. 自由投ニヨル正確度ノ調査ニ就テ 吉住晋作
- 4. 走幅跳ノ力學的研究 上田精一
- 5. 體操ノ兒童身體ニ及ボス影響ノ一考察 吉川良弘
- 6. 學校球技ノ設備標準ニ就テ 佐々木等
- 7. 歩法ニ就テ 藤村トヨ
- 8. 我方校三十年間ノ生徒發育狀況ニ鑑ミ女子體育ヲ論ズ 川島恒吉
- 9. 昭和七年度ニ實施セル我方校ノ水泳ニ就テ 伊藤匡

- 10. 作業ノ筋ノ堅サニ及ボス影響 館野喜一郎
- 11. 最モ簡單ナル體力判定ノ一方法トシテノ心臟、肺臟能率診査五ヶ年間ニ就テ(附我方校ノ劍道) 村松久一郎
- 12. 各個人ニ對スル運動種目ノ適否判定法ニ就テ 武田義昌
- 13. アシユネル反應ト學業成績及體質トノ關係 武田義昌 田中義一
- 14. 體力増進ヲ主トセル夏季林間聚落ノ効果ニ就テ(第一報) 武田義昌 大田盛義 坂下義門
- 15. 體育ノ生活化 渡部護
- 16. 余ノ考案セル新式ラナトーム(室内疾走練習器)ノ供覽及其ノ活用ニ就

17. 郷土體操ノ提唱ト其ノ實際
野口源三郎

18. 體育民踊ニ就テ
小幡安

19. 理想主義ヨリ觀タル體育
赤間雅彦

20. 男子中等學校生徒ノ心臟ノ大サ並ニ位相ノ標準ニ就テ
飯塚昌山

21. 小池選手ノ第十回オリムピック競技出場前後ノ心臟ニ就テ
稻玉信吾

22. 生活及環境ノ身長ニ及ボス影響
島誠郁

23. カウプ氏體格指數ニ關スル知見
岩原拓

24. 日本女子身體幅徑ノ特徴ニ就テ
竹内茂代

25. 比坐高ヨリ見タル日本人體型ノ不均整ニ就テ
松林鎔三

26. 學齡兒童ノ身體各部發育及比例ニ關スル研究(第三報)軀幹ノ諸量ニ就テ

27. 一小學校ニ於ケル體操ノ評點ニ就テ
鈴木繁

28. 氣質検査ノ試ミ
小松林井三

29. 運動知覺ニ就テ
小松林井三

30. 運動ニヨル家兎內臟諸機關ノ變化
寺澤嚴

31. 中等學校野球ニ關スル調査
加藤進夫

32. パートランドラッセルノ遊戲觀ニ就テ
永田進夫

33. 老年人ノ地方的分布
橋山義雄

34. ローレル氏充實指數ノ利用ニ就テ
岡田藤十郎

35. 體格指數計算尺ノ考案ニ就テ
岡田藤十郎

36. 生體ニ依ル血液ノ流レ實驗五ツ
熊谷主膳

37. 金澤市松ヶ枝町校兒童ノ體重不足者及ソレト虛弱兒童トノ關係
岡島俊一

38. 月經中ノ運動競技ガ月經ニ及ボス影響
岩田正道

39. 金澤市ニ於ケル本校(山麓地域ニア)ル森山町尋常小學校)兒童ノ身長ニ就テ
林龍門

40. 運動ト血壓ニ就テ
白石謙作

41. 運動ノ心臟ニ及ボス影響(第一報)
塚田三史

42. 運動醫學ノ研究(其一)
杉本秀一
高木四郎
佐藤市四郎
藤野忠雄
飯野富德
米原忠雄

43. 運動練習ノ組織呼吸ニ及ボス影響ニ關スル研究
小渡川朝吉

44. 畸形性脊椎炎 Spondylitis deformans
中村爲男

45. 脂肪性物質ノ運動生理化學的意義
安田守雄

46. 健康診斷ト結核性肋膜炎
竹村正

47. 規準問題ニ就テ
八木高次

48. 女子體育家ノ胸部レントゲン像ニ就テ
相川武雄

49. 野球選手ノ指ニ就テ(第一回報告)
齋藤一太

50. 水泳選手ノシーズン前後ニ於ケル內臟ノレントゲンの觀察
深山泉

51. オリムピック日本水泳チームニ關スル醫事報告
深山泉

52. 小學校運動選手ノ體格、心臟ノ大サ及肺結核ニ就テ
小田俊郎

53. 人體需要熱量圖表簡易定量法(附)人體表面積簡易算出法
布施信雄

54. 體表面積、體重、身長ノ實驗的相關
神保勝雄

- 3. 器械體操中ノ呼吸ト胸圍ノ變化 本間 茂雄
- 4. 女子器械體操ニ就テ 藤村 トヨ
- 5. 運動機能ニ顯ハル、教育的治療 川田 貞治郎
- 6. 一流選手ノ庭球サーヴィステストニ就テ 佐々木 等
- 7. 行進要領ノ解剖的一考察 岩本 岩次郎
- 8. 自然歩ノ研究(第三報) 大谷 武一
- 9. 我方校體育ノ施設ニ就テ 石橋 源兵衛
- 10. 體育ノ哲學的基礎 飯塚 晶山
- 11. 行ノ上ニ立ツ體育指導ノ基調 石津 誠
- 12. 高層山岳地帯ニ住ム者ノ胸廓ガ大キク脚ノ短イ理由ノ一考察 熊谷 主膳
- 13. 健康調査ニ就テ 武田 義昌
- 14. 東京女子醫學專門學校生徒ノ肺活量ニ就テ 高橋 キヤウ

- 15. 日本女子ノ胸圍ニ關スル研究 竹内 茂代
- 16. 陸上競技ノウォームアップニ就テ 野口 源三郎
- 17. 競技場ニ於ケル指導者ノ用語ニ就テ 野口 源三郎
- 18. 聾啞兒ノ體育ニツキ特ニ留意スベキ諸點 高田 弘通
- 19. 兒童養護上ノ一考察 千田 民治郎
- 20. 筋力並ニ體格ト二三ノ運動成績トノ關係ニ就テ 成山 甚二郎
- 21. 東京郊外兒童ノ頭長、頭幅發育及ビ比例ニ就テ 岩原 拓
- 22. 上下肢周徑ノ研究 鈴木 繁
- 23. 頭蓋指數ノ後天性影響ニ就テ 横尾 安夫
- 24. アイヌ小兒ノ頭蓋指數ニ就テ 古屋 芳雄

- 55. 法式ニ就テ 神保 勝雄
- 55. 運動競技ノ記録(タイムニ關スル)更ニ影響スル疲勞及ビ其他諸要因ノ研究 神保 勝雄
- 56. 本邦最高山岳地帯ニ於ケル兒童ノ身長發育不良ニシテ胸廓發達ノ良好ナル理由 延川 靖
- 57. 運動醫學ノ研究(其二) 杉本 秀良

- 58. 岐阜縣ニ於ケル地域別發育ノ特徴ニ就テ 中山 福富
- 59. 各種體育運動混合練習ノ大人男子體力ニ及ボシタル影響ノ觀察 吉田 章信
- 60. 國際選手(第九回極東オリムピック大會選手)ノ心臟ノエレクトロカルディオグラフィノ研究 川島 震一
- 61. 疲勞ト血液 馬淵 秀夫
- 62. 學童ノ體操ニ更ニ簡性的ノ取扱ヲ加味スベキニアラザルカ 木下 東作
- 2. 擇ニ就テ 鹽澤 幹
- 體操指導ニ於ケル器械使用教材ノ實施所要時間 酒井 將

57. スポーツ醫學ノ研究(其五)

杉本良一 佐藤市四郎 飯野富次 知源大 瓦田好只 八毛塚島外 十衛

58. 女子運動競技者ノ骨盤ニ就テ 岩田正道

六四

3. 各部研究會

本所ニ於テハ各部ノ研究ニ於テ所員外ノ同好者ト連絡ヲ緊密ナラシムル必要アル場合ニ各部研究會ヲ設クルコトトセリ。而シテ目下設置中ノモノ左ノ三ニ達セリ。

A 體操研究會 (昭和三年十二月十日)

規程

- 第一條 體育研究所内ニ體操研究會ヲ設ク
- 第二條 本會ハ體操ノ理論及實際ノ研究ヲナシ併セテ其ノ普及ヲ計ルヲ以テ目的トス
- 第三條 體操研究會々員タラントスルモノハ其ノ旨所長ニ願ヒ出スルモノトス、所長ハ出願者ニ

ツキ詮衡ノ上之ヲ許可ス

- 第四條 所長ハ會ノ進行上數名ノ幹事ヲ定ム
- 第五條 幹事ハ所長ノ命ヲ受ケ會ノ計畫ヲ定メテ其ノ實行ニ從事ス
- 第六條 研究會員ハ研究ニ要スル費用ヲ自辨スルコトアルヘシ
- 第七條 研究會開催ノ日時ハ別ニ之ヲ定ム
- 第八條 研究會員ニシテ病氣其ノ他ノ事故ニヨリ會員タルコト能ハサル時ハ其ノ旨所長ニ届出ツルモノトス

第九條 研究會員ハ相互向上ニカムルモノトス、若シ會員トシテ適セサルコトヲ認メタル時ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

事業

- 一、體操ニ關スル理論的研究
- 二、體操ニ關スル實際的研究
- 三、體操研究發表

組織

左ノ四部ニ分ツ、

- 一、研究部
- 二、調査部
- 三、練習部
- 四、宣傳部

六五

B 遊戯研究會（昭和三年一月六日）

規程

- 第一條 體育研究所内ニ遊戯研究會ヲ設ク
- 第二條 本會ノ目的ハ遊戯ノ理論及實際ノ研究ヲナスニアリ
- 第三條 遊戯研究會員タラントスルモノハ其ノ旨所長ニ願出ツルモノトス
- 第四條 遊戯研究會員ノ資格ハ左ノ如シ
 - 一 現ニ教職ニアルモノ及カツテ教職ニ從事セルコトアルモノ
 - 二 其ノ他適當ト認メタルモノ
- 第五條 所長ハ出願者ニツキ詮衡ノ上之ヲ許可ス
- 第六條 所長ハ會ノ進行上數名ノ幹事ヲ定ム
- 第七條 幹事ハ所長ノ命ヲ受ケ會ノ計畫ヲ定メテソノ實行ニ從事ス
- 第八條 研究會員ハ研究ニ要スル費用ヲ自辨スルコトアルヘシ、但シ差支ナキ限りニ於テ本所備付ノモノヲ使用セシム

第九條 研究會開催ノ日、時ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 研究會員ニシテ病氣其ノ他ノ事故ニヨリ會員タルコト能ハサルトキハ其ノ旨所長ニ届出ツルコト

第十一條 研究會員ハ相互向上ニカマルモノトス、若シ會員トシテ適セサルト認ムルトキハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

事業

- 一、遊戯ニ關スル理論的内容ノ研究
- 二、遊戯ノ實際的研究
- 三、遊戯ノ研究發表

組織

左ノ各部ニ分チ各部ニ若干名ノ部員ヲ置キテ事業ノ進行ヲ圖ル

- 一、バスケットボール部
- 二、ベースボール部
- 三、ヴァレーボール部
- 四、サッカーフットボール部
- 五、ラグビーフットボール部
- 六、テニス部
- 七、スキー、スケート部
- 八、リズムミカルワ
- イク部
- 九、映畫部
- 一〇、玩具遊、器械遊部
- 一一、規則研究部

C 競技研究會（昭和三年十二月）

規程

六八

- 第一條 體育研究所内ニ競技研究會ヲ設ク
 - 第二條 本會ハ競技ノ理論及實際ノ研究ヲナシ併セテ其ノ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 - 第三條 競技研究會々員タラントスルモノハ其ノ旨所長ニ願出スルモノトス 所長ハ出願者ニツキ詮衡ノ上之ヲ許可ス
 - 第四條 所長ハ會ノ進行上數名ノ幹事ヲ定ム
 - 第五條 幹事ハ所長ノ命ヲ受ケ會ノ計畫ヲ定メテ其ノ實行ニ從事ス
 - 第六條 研究會員ハ研究ニ要スル費用ヲ自辨スルコトアルヘシ
 - 第七條 研究會開催ノ日時ハ別ニ之ヲ定ム
 - 第八條 研究會員ニシテ病氣其ノ他ノ事故ニヨリ會員タルコト能ハサル時ハ其ノ旨所長ニ届出ツルコト
 - 第九條 研究會員ハ相互向上ニカムルモノトス、若シ會員トシテ適セサルコトヲ認メタル時ハ許可ヲ取消スルコトアルヘシ
- 事業

- 一、競技ニ關スル理論的研究
- 二、競技ニ關スル實際的研究
- 三、競技研究發表

組織

左ノ各部ニ分チ事業ノ進行ヲ圖ル

- 一、競走部（ハードル、リレーヲ含ム）
- 二、跳、投技部（混成競技ヲ含ム）
- 三、規則部（競技場設計、管理ヲ含ム）
- 四、映畫部（寫眞、活動寫眞ヲ含ム）

4. 調査

多年要望セラレタル學校體操教授要目ノ改正ハ、遂ニ大正十五年五月二十七日文部省訓令第二十二號ニヨリ實現セラレ、茲ニ時代ノ進歩ニ適應シテ面目ヲ一新シタル教授要目ノ公布ヲ見タルハ斯界ノ爲、誠ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリ。

本所ニ於テハ、新令公布ノ後之ガ解説書ノ調査ニ着手シ之ニヨリ一層有效ニ新定學校體操ノ精神並ニ内容ヲ全國諸學校ニ普及センコトヲ企テ昭和二年二月學校體操解説ノ調査ヲ完成シ同月二十五日之ヲ刊行發表セリ

其ノ後本所員及ビ斯道ノ權威者ヲ以テ委員會ヲ組織シ調査セルモノ左ノ如シ。

六九

- (1.) 劍道指針 (調査済、學校衛生調査會ニ於テ文部大臣諮問事項トシテ審議中)
- (2.) 柔道指針 (同上)
- (3.) 弓道指針 (同上)
- (4.) 運動場構築法 (調査中)
- (5.) 相撲指針 (調査中)
- (6.) 保健體操 (男子用) (調査済)
- (7.) 保健體操 (女子用) (調査済)
- (8.) 跳躍指針 (調査済)
- (9.) 投擲指針 (調査中)

5. 講話會

毎月第一土曜日〔第一土曜日事故アルトキハ第二土曜日〕ヲ定日トシ、所員ノ研究セル所ヲ適宜發表シ、所員各自ノ綜合的研究ニ資シ、傍ラ本所ト關係ノ最深キ官衙、學校、運動團體等ニ來聽方ヲ通知シ、豫期以上ノ成果ヲ收メツ、アリ。今昭和八年十二月末マデニ於ケル演題ヲ記セバ左ノ如シ。

- | | | |
|-----|------------------|-----------|
| 1. | ワンデルフオーゲル | 北 所 長 |
| 2. | 碎氷時ノ救助法 | 岩 原 衛 生 官 |
| 3. | 促進學級ニ就テ | 大 西 衛 生 官 |
| 4. | 競技運動ト道德 | 佐々木技師 |
| 5. | 運動ト食 | 吉 田 技 師 |
| 6. | 曲線ニヨル情調ノ表現 | 松 井 技 手 |
| 7. | バドツク・マーチソン兩選手ノ身體 | 吉 田 技 師 |
| 8. | 検査成績ニ就テ | 秋 田 技 手 |
| 9. | 内分泌臟器ト體質 | 大 西 衛 生 官 |
| 10. | 極東オリンピック競技大會ノ感想 | 大 谷 技 師 |
| 11. | 體操 | 松 井 技 手 |
| 12. | 行進ノ「リズム」 | 吉 田 技 師 |
| 13. | 心臟ノ發育並ニ各種競技運動ニヨル | 佐々木技師 |
| 14. | 增大及ビ縮小ニ關スル諸家ノ研究成 | 秋 田 技 手 |
| 15. | 績ニ就テ | 吉 田 技 師 |
| 16. | 體育ノ主義ニ就テ | 吉 田 技 師 |
| 17. | 人體重心ノ測定 第一回測定 | 秋 田 技 手 |
| 18. | 血壓測定及ビ血壓ト體育トノ關係 | 吉 田 技 師 |
| 19. | ニ就テ | 大 谷 技 師 |
| 20. | 對校競技問題解決 | 秋 田 技 手 |
| 21. | 統計ノ話 | 松 井 技 手 |
| 22. | 歩行ニ於ケル個人差 | 佐々木技師 |
| 23. | ア式フットボールノ見方 | 吉 田 技 師 |
| 24. | 虛弱者ノ定義ニ就テ | 大 谷 技 師 |
| 25. | 基本體操 | 岩 原 衛 生 官 |
| 26. | プロイセンニ於ケル學校體操指針 | 吉 田 技 師 |
| 27. | 虛弱者ノ數ニ就テ | 長 谷 川 囑 託 |
| 28. | 運動場ノ設計 | 大 西 衛 生 官 |
| 29. | フイリツピンノ體育狀況 | 吉 田 技 師 |
| 30. | 虛弱者ノ原因ニ關スル研究 | 吉 田 技 師 |

27.	Play-ground Movement	清水囃託
28.	運動醫學研究ノ態度	小笠原囃託
29.	虚弱兒童ノ體育ニ關スル方針	吉田技師
30.	運動ノ生化學	安田囃託
31.	物心並行論ニ就テ	阿部技手
32.	陸上競技ノ決勝審判ニ就テ	野口技師
33.	虚弱者ノ體育方法ニ就テ	吉田技師
34.	フットベースボールノ方法ニ就テ	佐々木技師
35.	體操器具ニ就テノ研究	今井學習院教授
36.	虚弱者ノ徴候	吉田技師
37.	扁手足ト歩行	渡部技手
38.	Massageニ就テ	山田囃託
39.	體操科教授要目ニ就テ	酒井技手
40.	發育ヲ完了セル日本人男子ノ身長ニ就テ	吉田技師

41.	運動食ノ研究	安田技師
42.	體操ニ就テ	大谷技師
43.	バツヂテストニ就テ	清水技手
44.	運動ト氣温及ビ氣濕	吉田技師
45.	體能ノ研究	阿部技手
46.	醫學ノ立場ヨリ見タル體育	小笠原技師
47.	人生論	山田技手
48.	日本人ノ身長發育	吉田技師
49.	日本人ノ體重發育	吉田技師
50.	極東オリンピック大會ノ感想	岩原衛生官
51.	獨逸ニ於ケル體育狀況	松井技手
52.	學術ノ研究ト社會ノ進化	吉田技師
53.	懸垂屈臂ノ力學的考察ト其ノ實際	杉本技手
54.	聯盟體操 附實演	森 梯次郎 三浦ヒ口秀郎

55.	我國野球技ノ現状ニ就テ	小笠原技師
56.	乳酸定量ニ就テ 豫報	安田技師
57.	肺活量ノ測定及新案肺活量計ニ就テ	吉田技師
58.	教育哲學研究室ノ研究方針	清水囃託
59.	運動ト智能ニ關スル研究ノ試ミ	松井技師
60.	虚弱兒童養護施設ニ就テ	大西衛生官
61.	思想善導ト體育	山田技手
62.	「ストップウォッチ」ニヨル時間測定ニ關スル一實驗	阿部技手
63.	第九回國際オリンピック競技大會 批判	野口技師
64.	日本人體ノ質量比例ニ就テ	秋田技手
65.	運動ト酵素カタラーゼ、ベルオキシターゼ竝ニ血液酸素結合力ニ就テ	高岡技手

66.	血糖ノ消長ト血液磷酸量	安田技師
67.	獨逸ノ體育ニ就テ	岩原衛生官
68.	ダーベンボートノ所謂「體格最良指數」ニ就テ	秋田技手
69.	身體運動後ノ血壓陰性期ニ關スル知見補遺 第一回	小笠原技師
70.	運動ニヨル二、三血液竝ニ尿成分ノ變化ニ就テ	安田囃託 山來囃託
71.	神經毒ニヨル血液乳酸量ノ變化ニ就テ	山來囃託
72.	日本兒童ノ體力ニ就テ(第一報)	吉田技師
73.	日本壯丁ノ體格ニ關スル統計的研究(第二報ノ一部分)	吉田技師
74.	運動ト身體的特徵及ビ智能トノ關係	松井技師

75. 運動ノ精神作業ニ及ボス影響
(第一報) 阿松 井 技師
76. 日本人ノ競技記録ノ變遷ニ就テ 野口 技師
77. フインランド及獨逸ノ體育 佐々木 技師
78. 學校體操科教材ノ有機的組織 杉本 技師
79. 學生選手並ニスポーツ是非論ニ就テ 山田 技師
80. 人格型ニ就テ 内田 囑託
81. 歐米ニ於ケル球技ノ現況ニ就テ 柳田 享
82. 獨逸式走法ノ私見 野口 技師
83. 歐米視察感想 吉田 技師
84. 冬ノ山トソノ危険 日本山岳會幹事
85. 握力ニ關スル一實驗 山田 技師
86. 素質型診斷トシテノ實驗心理學的方法 松井 技師

87. 最初ノスポーツ醫學者カールスベツクニ就テ 小笠原 技師
88. 第八回日本醫學會概況報告 北所 技師
89. 運動ト醫學 吾妻 囑託
90. オリンピック大會ニ就テ 野口 技師
91. スポーツ漫談 辰野 保
92. 社會學的教育觀 永田 囑託
93. 米國小學校體操ノ内容ニ就テ 吉田 技師
94. 練習條件ノ實驗的研究 山根 囑託
95. 補助運動ニ就テ 佐々木 技師
96. 山田式強健法 山田 雲峰
97. 日本人ノ體力發達ニ就テ 吉田 技師
98. 讀書餘談 小笠原 技師
99. 學校體操ノ現狀 大谷 技師

100. 社會病理學ニ就テ 山田 技師
スキー漫談 大谷 技師
101. 運動ノ尿成分ニ及ボス影響 山來 技師
102. 運動ノ評點法審判ニ就テ 松井 技師
103. 素質型ノ實驗的研究 松井 技師
104. 競争ノ實驗的研究 他松 井 技師
105. 受胎ノ季節的考察 松井 技師
106. 日本婦人ノ體力ニ就テ 竹内 囑託
107. 心臟ノ大サノ表示法トシテノ身心比數ニ就テ 稻玉 囑託
108. 男子中等學校生徒ノ心臟ノ大サニ就テ 稻玉 囑託
109. Encyclopedie des Sportsノ紹介 永田 囑託
110. 生物發展ノ一要因トシテ見タル缺乏ノ現象 山田 技師

111. ビー、テイ、ダンスニ就テ 佐々木 技師
112. 兒童ト環境 小林 囑託
113. 運動ノ人間ノ形態ニ及ボス影響ニ關スル一私見 鈴木 技師
114. ニールスブツクノ體操ニ就テ 酒井 技師
115. 生體ノ手掌面積及足趾面積ニ關スル研究 佐々木 技師
116. 自然歩ノ研究 大谷 技師
117. 破瓜期ニ於ケル身體發育 松林 技師
118. 女子體育ノ身體發達ニ及ボス影響 佐々木 技師
119. 精神衛生ヨリ見タル作業實驗 内田 囑託
120. 東京女子醫學專門學校生徒ノ體格ニ就テ 高橋キヨウ
121. 日本婦人指極及ヒ肩幅ニ就テ 竹内 囑託
122. 女子身長體重ノ季節的發育狀況 松林 技師
123. 七五



124.	日本人ノ體質特ニ身體的作業能力ノ研究並ニ其向上ニ關スル教育衛生學的考察	吉田技師
	オリンピックヲ見テ	齋藤囑託
	歐米ノ印象	安田技師
	歐米ノ體育視察談	大谷技師
	運動醫事相談部ノ事業内容ニ就テ	白石囑託
	日本陸上競技界ノ動キニ就テ	坂入囑託
	國民體位ノ判定ニ就テ	吉田技師
	體操競技ニ就テ	酒井技手
	歐米ノスポーツ醫事ニ就テノ感想	東俊郎
132. 131. 130. 129. 128. 127. 126. 125.		
140. 139.	「テニス」ノ「サーヴィステスト」ニ就テ	佐々木技師
	兒童ノ遊戯ニ關スル調査報告	松井技師
	高等學校ノ體育調査ニ就テ	永田囑託
	北大ニ於ケル陸上競技史ニ就テ	野口技師
	體質トハ何ゾヤ	鈴木技手
	心臟ノ實大測定法ト遠隔撮影法トノ關係ニ就テ	稻玉囑託
	スキー入門	中川新
	スキーノ技術	麻生武治
138. 137. 136. 135. 134.		
133.		

(二) 運動醫事相談

近時各種體育運動彌々隆盛ニ趨クニ從ヒ之ガ實施方法ノ適正ヲ期スルコトノ必要ナルハ言ヲ俟タザル所ニシテ、ソノ方法中最モ適切緊要ナルハ體育醫學ノ實踐ニアルベシ。故ニ本所ニ於テハ昭和八年度ヨリ運動醫事相談部ヲ文部省構内ニ設ケテ一般ノ相談ニ應ゼシメ如上ノ目的達成ヲ期スルコト、セリ。之ニ當ル職員ハ目下技師 二、技手 二、書記 一、囑託 一、雇員 一、ニシテ昭和八年十月二十五日設備ソノ他各般ノ準備完了、事業ヲ開始シタリ。而シテ同年十二月末日迄ノ狀況ハ次ノ通りナリ。

1. 人員 男、五一、女、七二、再來、一二七、
 内 學生 三九一、一般 一九二ナリ、審査ノ結果
 - (1) 運動實行ヲ可トスルモノ 三二二
 - (2) 運動實行ヲ不可トスルモノ 一六
 - (3) 運動ニ制限ヲ加フベキモノ 一四五
 ニシテ夫々本人ニ通告シテ、將來ノ方針ニ指示ヲ與ヘタリ。
2. レントゲン撮影者數
 一七五 (内、内科八五、外科九〇)

精神作用ノ身體的關係

國民體育指導法

競技會管理法

運動場ノ設計

青年ノ心理

體操

トラックフィールド競技

同

テームゲームス

同

岩原技師

大谷技師

野口技師

佐々木技師

松井技師

大谷技師

野口技師

佐々木技師

大谷技師

佐々木技師

中學校ニ於ケル體操・遊戯・競技ノ指導法

運動場ノ設計及ビ管理

中學校生徒ノ精神検査

ラ式蹴球

モディファイドラグビー

陸上競技

其ノ他ノ團體競技

大谷技師

佐々木技師

松井技師

大谷技師

大谷技師

佐々木技師

佐々木技師

(4.) 全國中學校體操科擔任教員講習會

體育ニ關スル生理衛生

實踐道德

體育ニ關スル生理衛生(消化吸収)

北所長

深作安文

吉田技師

(5.) 全國高等女學校、實科高等女學校體操科擔任男教員講習會

女子體育概論

實踐道德

女子身體ノ生理學的特徵及ビ婦人衛生

北所長

深作安文

吉田技師

體操及ビ遊戯

疲勞ノ心理

女子特有ノ解剖學

體操

遊戯及ビ競技

舞踊

大谷技師

田中寛一

秋田技師

大谷(宮)技師

佐々木技師

荒木直範

(6.) 日本體育聯盟國民體育指導者講習會

日本體育聯盟ノ抱負

柔道

運動精神

體育聯盟ノ事業

運動ト榮養

劍道

各種強健法批判

林博太郎

嘉納治五郎

黒田長和

北所長

村地長孝

高野佐三郎

吉田技師

最近ノ陸上競技

體操

體研ボール

バスケットボール

ラグビーフットボール

ハンドボール

プレーグランドボール

ヴァレーボール

野口技師

大谷(宮)右衛門

宮田(森)次郎

大谷技師

藥師寺尊正

鶴岡英吉

大谷技師

佐々木技師

佐々木技師

(7.) 東京府下小學校男教員體育講習會

學校體育概論

體操及ビ教練ノ指導

遊戯及ビ競技ノ指導

解剖學

北所長

大谷技師

野口(佐)技師

秋田(佐)技師

心理學

教育學

運動生理衛生學

體操及ビ教練

遊戯及ビ競技

阿部 技手

清水 囀託

吉田 技師

大谷 技師

野口 技師

佐々木 技師

高橋 技師

(8.) 新潟縣下中等學校體操科擔任教員體育講習會

體操及ビ教練ノ指導

遊戯及ビ競技ノ指導

學校體育概論

解剖學

教育學

體操及ビ教練

大谷 技師

野口 技師

佐々木 技師

吉田 技師

秋田 技手

清水 囀託

大谷 技師

森 技師

遊戯及ビ競技

野口 技師

佐々木 技師

高橋 技師

(9.) 全國小學校教員體操科改正教授要目講習會

體操及ビ教練改正ノ方針

同改正ノ項目

遊戯及ビ競技改正ノ方針

遊戯及ビ競技改正ノ項目

體操科(體操、遊戯、競技)教授上ノ注意

教練

劍道及ビ柔道

吉田 技師

大谷 技師

岩原 技師

野口 技師

佐々木 技師

高橋 技師

野口 技師

岩原 技師

吉田 技師

陸軍省

大谷 技師

二宮 技師

體操及ビ教練

遊戯及ビ競技

大谷 技師

二宮 技師

宮田 技師

森 技師

高橋 技師

野口 技師

佐々木 技師

高橋 技師

(10.) 全國師範學校女子部、高等女學校教員、體操科改正教授要目講習會

講習要項前ニ同シ

(11.) 全國中學校、實業學校教員、體操科改正教授要目講習會

講習要項前ニ同シ

(12.) 全國師範學校男子部教員、體操科改正教授要目講習會

目講習會

講習要項前ニ同シ

(13.) 日本體育聯盟體育指導者講習會

體育運動概論

要目改正ノ方針

體操改正ノ項目

遊戯及競技改正ノ項目

教授上ノ注意(體操)

教授上ノ注意(遊戯)

體操

遊戯

北所 技師

吉田 技師

大谷 技師

野口 技師

吉田 技師

岩原 技師

大谷 技師

二宮 技師

森 技師

野口 技師

佐々木 技師

高橋 技師

(14.) 第一回長期講習會

衛生學 吉田技師
 生理學 小笠原技師
 生化學 安田技師
 解剖學 秋田技師
 心理學 阿部技師
 教育哲學 清水囁託
 體操 大谷技師
 森谷技師
 佐々木技師
 野口技師
 藥師寺尊正
 高橋キヤウ
 三浦ヒロウ
 遊戯及競技

(15.) 東京府下中等學校體操科擔任女教員體育講習會

衛生學 吉田技師

(16.) 全國專門學校程度諸學校體操科擔任教員體育講習會

生理學 小笠原技師
 生化學 安田技師
 解剖學 秋田技師
 心理學 阿部技師
 教育倫理 清水技師
 體操 大谷技師
 遊戯 佐々木技師
 競技 野口技師
 大谷技師
 野口技師
 佐々木技師
 森谷技師
 大谷技師
 野口技師
 佐々木技師
 高橋キヤウ
 野口技師
 遊戯及競技

體育運動概論 北所長

運動衛生及體操科ノ要旨

體操理論 吉田技師
 運動救急處置 大谷技師
 競技理論 高木憲次
 生理學 野口技師
 生化學 小笠原技師
 解剖學 安田技師
 心理學 秋田技師
 教育哲學 阿部技師
 體操 清水技師
 陸上競技 大谷技師
 球技 野口技師
 佐々木技師
 香山蕃
 ラ式フットボール
 バスケツトボール
 藥師寺尊正

(17.) 東京府下青年體育指導者體育講習會

運動衛生學 吉田技師
 生理學 小笠原技師
 運動化學 安田技師
 解剖學 秋田技師
 運動心理學 阿部技師
 體操 大谷技師
 遊戯及競技 森谷技師
 遊戯 佐々木技師
 三浦ヒロウ

(18.) 日本體育聯盟體育指導者講習會

體育ノ向上 林博太郎
 將來ノ我方國民體育 北所長
 學校體操教授要目改正ノ精神(體操ノ部) 吉田技師

學校體操教授要目改正ノ精神(遊戯及
競技ノ部)

岩原技師
大谷技師
野口技師
吉田技師
二宮文右衛門師
大谷技師
野口技師
三浦木技師
野口技師
佐野木技師
佐野木技師

(19.) 東京府下小學校教員體育講習會

運動衛生學
運動生理學
運動化學
吉田技師
小笠原技師
安田技師

(20.) 第二回長期講習會

解剖學
運動心理學
體操
遊戯及競技
秋田技師
阿部技師
大谷技師
森谷技師
野口技師
佐野木技師
三浦木技師
吉田技師
小笠原技師
安田技師
秋田技師
阿部技師
清水技師
嘉納治五郎
高野佐三郎

弓道
登山
水泳
體操、教練、武道
遊戯及競技

本多利時
榎有恒
本田存
大谷技師
森谷技師
野口技師
佐野木技師
藥師寺尊
香浦ヒ
三浦ヒ

(21.) 日本體育聯盟國民體育指導者講習會

將來ノ社會體育
歐米ノ體育狀況
社會體育ノ理論
社會體操
林博太郎
北所長
吉原技師
岩原技師
大谷技師
二宮文右衛門師
森宮技師
今井熊太郎

遊戯及競技

(22.) 東京府豐多摩郡小學校男教員體育講習會

運動衛生學
心理學
生理學
化學
解剖學
體操
遊戯及競技
大谷技師
野口技師
柳田技師
香山技師
香木技師
吉田技師
阿部技師
小笠原技師
安田技師
吉田技師
大谷技師
森谷技師
野口技師
佐野木技師

(23.) 第三回長期講習會

解剖學
秋田技師

水泳	登山	弓道	柔道	劍道	教練	運動場設計	學校體操及醫療體操	心理學	教育哲學	生化學	衛生學	生理學	組織學
本田 存	榎 有恒	本 多利時	嘉納治五郎	高野佐三郎	久保田藤吉	大谷 技師	大谷 技師	阿部 技師	清水 囑託	安田 技師	吉田 技師	小笠原 技師	秋田 技師

(24.) 日本體育聯盟國民體育講習會

體操及教練	遊戲及競技	將來ノ青年體育	歐米青年ノ體育情況	青年體育ノ理論	青年ノ體操	體操	遊戲及競技
大谷 技師	野口 技師	林 博太郎	北 所長	吉原 技師	岩谷 技師	大谷 技師	大谷 技師
森宮文右衛門	野口 技師	佐々木 技師	藥師 技師	香浦 技師	三浦 技師	野口 技師	野口 技師

(25.) 女子中等學校體操科擔任女教員體育講習會

女性解剖學	女性生理學	レントゲン學	女子體育概論	生化學	女性心理學	歐米ニ於ケル女子體育	教育學ヨリ見タル女子體育	體育運動ノ倫理學上ヨリ見タル考察	女子ト體育	女子ト遊戲競技	體操
秋田 技師	小笠原 技師	春名英之	吉田 技師	安田 技師	松井 技師	松井 技師	清水 囑託	吉田 技師	大谷 技師	佐々木 技師	大谷 技師

(26.) 第四回長期講習會

遊戲及競技	解剖學	組織學	生理學	生化學	衛生學	倫理學	心理學	教育哲學	學校體操、醫療體操	教練	劍道
野口 技師	秋田 技師	秋田 技師	小笠原 技師	安田 技師	吉田 技師	深井 技師	松井 技師	清水 囑託	大谷 技師	河村 薰	高野佐三郎

思想問題下體育

體育概論

體育理論

聯盟體操

練習ノ生理

體操

聯盟體操

遊戲及競技

林博太郎

北所長

吉田技師

大谷技師

小笠原技師

大谷技師

今井熊太郎

森井梯次郎

野口英三師

安岡伊三師

(31.) 師範學校體操科男教員體育講習會

體育運動概論

解剖學

生理學

北所長

秋田技師

小笠原技師

九二

吉田技師

安田技師

松井技師

清水囑託

大谷技師

野口技師

香山正

香師

野口技師

北所長

秋田技師

小笠原技師

吉田技師

安田技師

松井技師

(32.) 女子中等學校體操科擔任女教員體育講習會

體育運動概論

解剖學

生理學

衛生學

生理學

心理學

衛生學

生理學

心理學

教育學及倫理學

體操

遊戲及競技

(33.) 東京府西多摩郡小學校男教員體育講習會

教育學及倫理學

體操

遊戲及競技

清水囑託

大谷技師

野口技師

(34.) 東京府下中等學校體操科男教員體育講習會

衛生學

心理學

生理學

解剖學

體操

遊戲及競技

吉田技師

松井技師

小笠原技師

秋田技師

大谷技師

野口技師

(35.) 第六回長期講習會

遊戲及競技

體操

解剖學

組織學

生理學

生理學

衛生學

國民道德

心理學

教育哲學

小笠原技師

松井技師

秋田技師

大谷技師

野口技師

佐野木技師

秋田技師

吉田技師

小笠原技師

高田技師

吉田技師

深作安文

松井技師

清水囑託

九三

(42.) 東京府豊多摩郡委託講習會

解剖學
生理學
生化學
衛生學及歐米最近體育思想
心理學
器械ニ關スル運動
ボール運動一般

(43.) 第九回長期講習會

秋田 技手
小笠原 技師
高田 技師
吉田 技師
松井 技師
大谷 八郎 技師
竹内 技師
佐々木 技師
秋田 技手
秋田 技手
小笠原 技師
高田 技師

衛生學
國民道德
心理學
教育學
學校體操、醫療體操
競技
遊戯
スキー
キャンピング
登山
弓道
體操及教練
球技及競爭遊戯
唱歌遊戯、行進遊戯

吉田 技師
深井 囑託
松井 技師
永田 囑託
大谷 技師
野口 技師
佐々木 技師
稻田 昌植
茂木 鎮雄
榎有恒
本多利時
大谷 覺造 技師
宮田 技師
高橋 技師
佐々木 尊正 技師
藥師 寺尊 技師
三浦 尊正 技師
戸倉 八郎 技師

スポーツマツサージ

(44.) 小學校長體育講習會

體育概論
解剖學
生理學
衛生學
生化學
心理學
體操
競技
遊戯
唱歌遊戯

(45.) 學校衛生技師體育講習會

佐々木 技師
北所 技師
秋田 技手
小笠原 技師
吉田 技師
高田 技師
松井 技師
大谷 技師
野口 技師
佐々木 技師
戸倉 八郎 技師

(46.) 第十回長期講習會

解剖學
生理學
生化學
衛生學
心理學
教育學
體操
競技
遊戯、球技
水上競技及ウインタースポーツ
體育概論
解剖學
組織學

秋田 技手
小笠原 技師
高田 技師
吉田 技師
松井 技師
永田 囑託
大谷 技師
野口 技師
佐々木 技師
大谷 技師
佐々木 技師
北所 技師
秋田 技手
秋田 技手

同
スポーツマツサージ

戸倉ハル
佐々木技師

行進遊戯

三浦ヒロ

1011

(49.) 女學校校長體育講習會

體育概論	北 所長
解剖學	鈴木技師
生理學	小笠原技師
衛生學	安田技師
體育心理學	吉田技師
教育學	松井技師
體操	永田囑託
競技	大谷技師
球技	野口技師
唱歌遊戯	佐々木技師
	戸倉ハル

(50.) 師範學校教員(男)體操講習會

體育行政	岩原技師
各科教授論	永田囑託
運動卜律	松井技師
體操卜榮養	安田技師
救急處置	齋藤囑託
衛生學上ヨリ見タル體操	吉田技師
學校體操教材ノ吟味	大谷技師
體操ノ指導法	同
體操ノ競技法	同
歐米體操界現狀	同
學校體操	同
同	森囑託

保健體操
ハンドボール

大谷技師
佐々木技師

(51.) 高等學校高等科體操科教授要目講習會

要目制定ノ精神トソノ運用ニ就テ	岩原技師
體操	大谷技師
同	森囑託
走技、跳技、投技	野口技師
球技	佐々木技師
體育衛生	吉田技師
高等學校體育ノ諸問題ト最近ノ教育思潮	永田囑託
救急處置	齋藤技師

(52.) 運動醫事講習會

運動醫事相談施設	岩原技師
運動醫學ノ發達史	東龍太郎
筋收縮ノ機構	同
運動卜代謝機能	浦本政三郎
運動醫學的診査法(内科)	白石技師
臨床スポーツ内科	同
臨床スポーツ外科	齋藤技師
スポーツノ骨格ニ及ボス影響	同
スポーツマツサージ	同
體力測定整理方法ノ理論及ビ實際	吉田技師
體操概論及實地演習	大谷技師
遊戯ノ概説卜實地演習	佐々木技師
競技概論卜實地演習	野口技師

1011

2. 研究生指導

本所ニ於テハ左ノ規程ヲ定メ研究生ノ入所ヲ許可スルコトトシタリ。

A 體育研究所研究生規程 (大正十四年十二月十五日)

- 第一條 體育研究所ニ研究生ヲ入所セシムルコトヲ得
 - 第二條 研究生トシテ入所ヲ志望スル者ハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ所長ニ願出ツヘシ
 - 第三條 研究生ノ資格ハ左ノ各號ニヨルモノトス
 - 一 中等學校體操科教員免許狀ヲ有スル者
 - 二 醫師
 - 三 心理學、教育學ヲ專攻シタル者
 - 四 其ノ他特ニ適當ナリト認メタル者
 - 第四條 所長ハ前條ノ志望者ニツキ詮衡ノ上之ヲ許可ス
 - 第五條 所長ハ各研究生ニ對シ指導主任ヲ定ム
- 指導主任ハ所長ノ命ヲ受ケ計畫ヲ定メテ指導ニ從事ス

第六條 研究生ノ在所期間ハ之ヲ六箇月トス、但シ本人ノ希望ニヨリソレ以上繼續スルコトヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 研究生ハ研究ニ要スル費用ヲ自辨スヘシ、但シ差支ナキ場合ニ於テハ本所備附ノモノヲ使用セシムルコトアルヘシ

第八條 研究生ハ研究終了ニ際シ在所間研究シタル所ヲ論文トシ指導主任ヲ經テ所長ニ提出スヘシ

第九條 研究生ニシテ成績良好ト認メタルモノニ對シテハ研究證書ヲ授與ス

第十條 研究生ニシテ病氣其ノ他ノ事故ニヨリ研究ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ所長ニ其ノ旨届出ツヘシ

第十一條 研究生ニシテ研究生タルニ適セスト認メタルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

B 研究終了生氏名 (昭和八年十二月末日現在)

研究科目	指導主任	修了年月日	氏名
體育ノ理論及實際	大谷 技師	昭和三年 一月三十日	小 幡 安
同	大谷 技師	昭和二年 五月二十一日	中 内 辰 熊
同「主トシテ解剖、生理、衛生」	秋吉 田 技師	昭和三年 三月二十日	阿 部 吉 治
同「主トシテ教育、心理」	清水 技手	昭和二年 三月二十五日	荒 崎 新

體育ノ理論及實際 <small>(主トシテ教育、心理)</small>	清水部 技手	昭和二年三月十一日	富田彦二郎
同「主トシテ解剖學」	秋田 技手	昭和三年二月八日	山田 義人
同 <small>(主トシテ陸上競技)</small> 同 <small>(トラツクファイルド競技)</small>	野口 技師	昭和二年三月二十五日	吉井甚右衛門
體操ノ理論及實際	大谷 技師	昭和二年五月二十六日	早田 茂
運動生理	小笠原 技師	昭和三年一月五日	三宅 英
體操及競技	大谷 技師	昭和三年六月五日	柴崎 敏郎
體操ノ理論及實際	大谷 技師	昭和二年十一月二十二日	高川 留吉
衛生	吉田 技師	昭和四年四月十二日	垂水 繁光
運動衛生	吉田 技師	昭和三年三月二十日	米地 武雄
體操	大谷 技師	昭和三年三月二十五日	青木 <small>(小淵改性)</small> 卷二郎
體操、衛生	吉田 技師	昭和四年二月二十五日	中田 喜兵衛
球技、衛生	佐々木 技師	昭和四年四月七日	前島 治吉
體操、競技	大野 技師	昭和四年四月七日	田中 省吾
體操、生理	大谷 技師	昭和五年十二月六日	宮川 扶
遊戯	小笠原 技師	昭和六年一月二十三日	安田 六郎

體操	大谷 技師	昭和六年三月十八日	三 室 節
運動心理學	松井 技師	昭和六年六月十四日	土 永 間 三 郎
遊 戲	佐々木 技師	昭和七年五月廿六日	弓 氣 田 米
衛 生	吉田 技師	昭和七年四月十三日	秋 谷 光 男
衛 生	吉田 技師	昭和七年五月五日	李 揆 在

3. 講 演 會

本所ニ於テハ、一般公衆ニ對シテ講演會ヲ催シ、指導ノ範圍ヲ擴張センコトヲ事業ノ一トナセルモ
 研究調査ニ追ハレ目下ノトコロ左ノ如ク只二回ノ講演會ヲ開催シタルニ止マレリ。

(1) 大正十四年十二月十二日、英國人ダイアナ、ウオアツ夫人ヲ聘シ、東京府立第三高等女學校ニ於
 テ、『古代ギリシヤノ理想ト方法トヲ復活シタル體操ト舞踊』ナル演題ノ下ニ、體育講演會ヲ開キ、
 三千ノ聽衆ニ多大ノ感激ト暗示トヲ與ヘタリ。

(2) 昭和四年十月四日、獨逸人ワイツアーヲ聘シ、本所ニ於テ『走法ニ就テ』ナル演題ノ下ニ體育講
 演會ヲ開キ、聽衆ニ多大ノ利益ヲ與ヘタリ。

4. 職員ノ出張ニヨル指導教授

本所ニ於テハ、事務ニ差支ナキ限り、一般社會ノ依頼ニヨリ、殆ド全國各府縣ニ所員ヲ出張セシメ指導教授ヲ行ヘリ。而シテ大正十三年十一月ヨリ、昭和八年十二月末マデノ間ニ於ケル、其ノ年別件數並ニ延日數左ノ如シ。

年 度	回 數	延 日 數
大 正 十 三 年 度	二	一 七
大 正 十 四 年 度	三	一 八
大 正 十 五 年 度	三	一 四
昭 和 二 年 度	五	〇 三
昭 和 三 年 度	六	一 五
昭 和 四 年 度	四	二 九
昭 和 五 年 度	二	一 四
昭 和 六 年 度	一	一 八
昭 和 七 年 度	二	二 七
昭 和 八 年 度	一	二 五
計	三 八	一 四 九

5. 體育相談部

部 員

技師 吉田章信、同大谷武一、同野口源三郎、同佐々木等、同小笠原道生、同松井三雄、同安田守雄、技手永田進、同鈴木繁、囑託山口一矩

規 定

體育相談部ハ體育ニ關スル相談質疑ニ應シ適當ナル指導ヲ爲ス

右ノ相談質疑ノ受付ハ口頭ニヨル場合ハ每週火、金ノ兩日午前中トス但シ競技ノ實際ニ關スルモノハ每週金曜日ニ限ル

文書ニヨル場合ハ日時ヲ定ムルコトナシ

相談質疑ニ關シテハ相談者ヨリ費用ヲ徴收セス、但シ相談者カ特別ノ検査ヲ希望スル場合ニ於テハ其ノ實費ヲ自辨セシムルコトアルヘシ

相談質疑ノ概要

昭和八年十二月末迄ニ於ケル相談質疑ハ三百五十五件ニ及ビタリ就中主ナルモノ左ノ如シ。

1. 小學校ニ於ケル體操科考查採點法ニ關スルモノ
2. 體操科ニ關スル研究項目ニ關スルモノ
3. 小學校運動場設計ニ關スルモノ
4. 蹴球ノ種別及ビ普及狀況ニ關スルモノ
5. 體操研究室ノ設計ニ關スルモノ
6. 體育ニ關スル醫學及ビ心理學的器械ノ取扱ニ關スルモノ
7. 體操器械、器具ノ取扱ニ關スルモノ
8. 小學校體操科教授要目ニ關スルモノ
9. 小學校ニ於ケル獨逸式體操ニ關スルモノ
10. 小學校兒童疲勞測定法ニ關スルモノ
11. 小學校ニ於ケル體操ノ基礎的調査ニ關スルモノ
12. 兒童營養程度觀識ニ關スルモノ
13. 小學校兒童飲用水ニ關スルモノ
14. 一般ノ陸上競技ニ關スルモノ
15. 身體營養促進ニ關スルモノ
16. 身體整形方法ニ關スルモノ
17. 體力、精力増進方法ニ關スルモノ
18. 身體ノ均齊發育方法ニ關スルモノ
19. 生徒體力検査ニ關スルモノ
20. 神經衰弱者ニ施スベキ適當ナル運動方法ニ關スルモノ
21. 陸上競技場及野球場設計ニ關スルモノ
22. 體育研究所屋內體操場ノ設備並ニ備附器具器械ノ種類及經驗上ノ注意ニ關スルモノ
23. 水泳プール設計ニ關スルモノ
24. 國際オリンピックク競技ニ關スルモノ
25. 體力ト體質、體格ノ關係ニ關スルモノ
26. 室內遊戲器具ニ關スルモノ
27. 血色素ノ測定ニ關スルモノ

28. 日本人及外國壯丁體格比較ニ關スルモノ
29. 日本人ノ胸圍統計ニ關スルモノ
30. 體力測定ニ關スルモノ
31. 幼兒ノ標準發育ニ關スルモノ
32. 體操教授ノ細目要點ニ關スルモノ
33. 體育上ノ用語ニ關スルモノ
34. 研究資料ニ關スルモノ
35. 日本婦人ノ身長發育停止ノ平均年齡ニ關スルモノ
36. 小學校體育ニ關スル研究項目其ノ他ニ關スルモノ
37. 標準體格ニ關スルモノ
38. 體育ニ關スル内外國書籍ニ關スルモノ
39. 運動能力検査標準ニ關スルモノ
40. 胸廓變形、瘦、肥、其ノ他ニ關スルモノ
41. ラヂオ體操ニ關スルモノ
42. 小學校兒童ノ骨格矯正法ニ關スルモノ
43. 步調ニ關スルモノ
44. 重量揚ゲ研究ニ關スルモノ
45. 體育調査實施ニ關スルモノ

(四) 出版

本所ハ本所ノ調査研究ニ依ルモノニシテ、社會一般ニ普及シテ價值アリト認ムルモノヲ單行本トシテ隨時刊行スルコトトセリ。今既ニ刊行シタルモノヲ舉グレバ左ノ如シ。

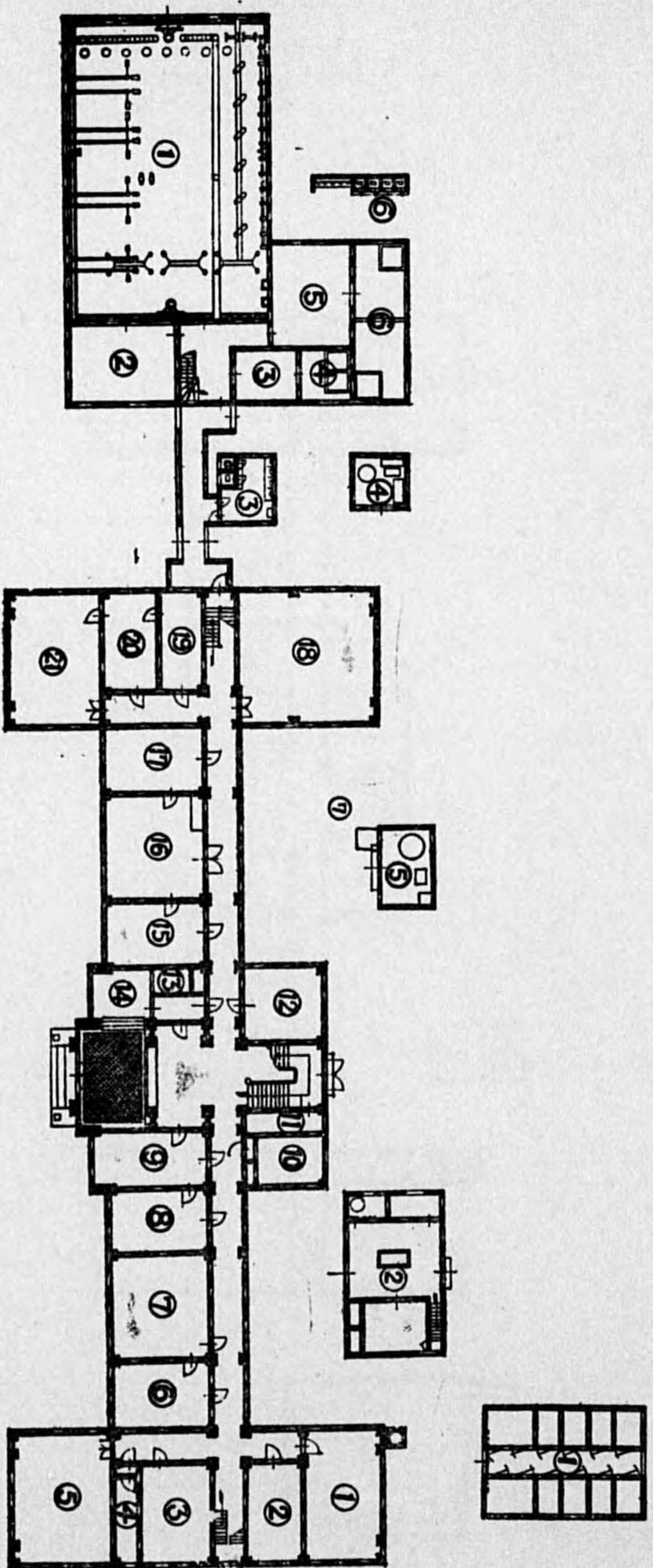
學校體操解說

頁數三百二十頁
〔定價 一圓八十錢〕

昭和二年二月二十五日發行

本館 (一階)

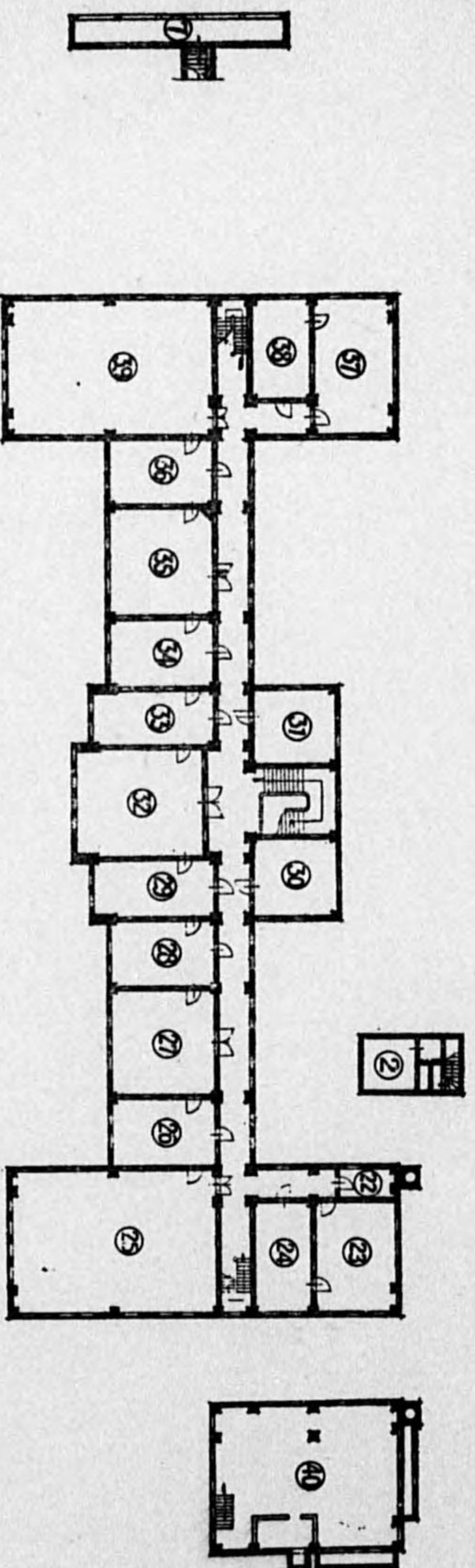
- (1) 生理學研究室 (2) 火室 (3) X光線室 (4) 寫真用暗室 (5) 實習室 (6) 器械標本室 (7) 心理學研究室 (8) 事務室
- (9) 事務室 (10) 宿直室 (11) 物置 (12) 第二應接室 (13) 小使室 (14) 受付 (15) 天秤室 (16) 化學研究室 (17) 藥品室
- (18) 解剖實習室 (19) 標本室 (20) 標本室 (21) 解剖學研究室
- 體操武道研究室 (一階)
- (1) ホール (2) 體操器具置場 (3) 女子更衣室 (4) 女子浴室 (5) 男子更衣室 (6) 男子浴室
- 附屬建物 (一階)
- (1) 動物舎 (2) 物置 (3) 便所 (4) 汽罐室 (5) 壓縮タンク (6) 便所 (7) 井戸及同上屋



體操武道研究室一階

本館 一階

- 本館 (二階)
- (292) 培養室 (293) 細菌學病理學研究室 (294) 生理學研究室 (295) 會議室兼食堂 (296) 標本室 (297) 第一所員室
 - (298) 第二所員室 (299) 第三所員室 (300) 教育學研究室 (301) 廳接室 (302) 所長室 (303) 第四所員室
 - (304) 第五所員室 (305) 圖書室 (306) 標本室 (307) 衛生學研究室 (308) 標本室 (309) 講堂
 - (40) 汽罐室 (地階)
- 體操武道研究室及附屬室 (二階)
- (2) 物置 (二階) (7) 觀覽席



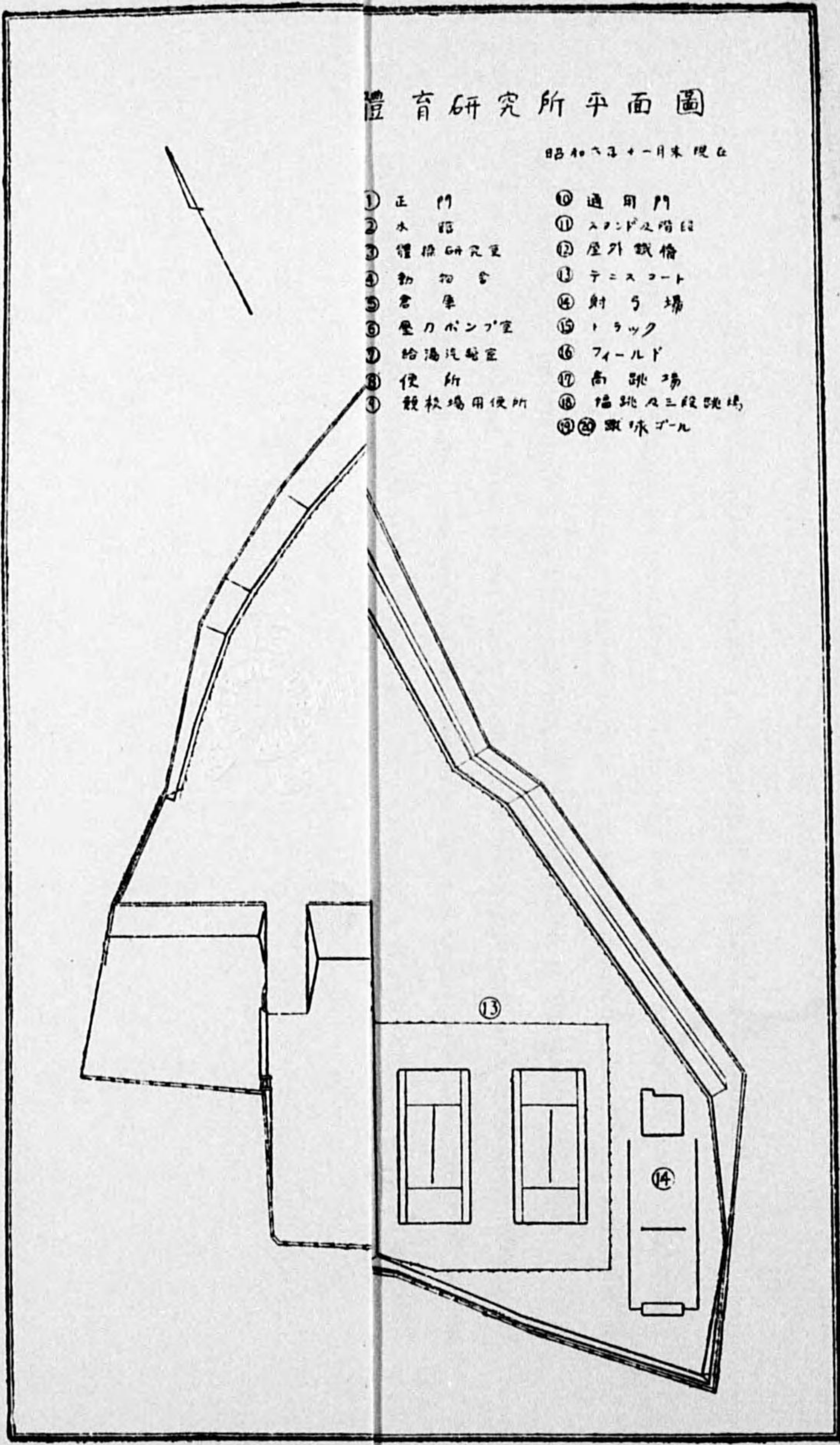
本館二階

體育研究所平面圖

昭和二十一年末現在



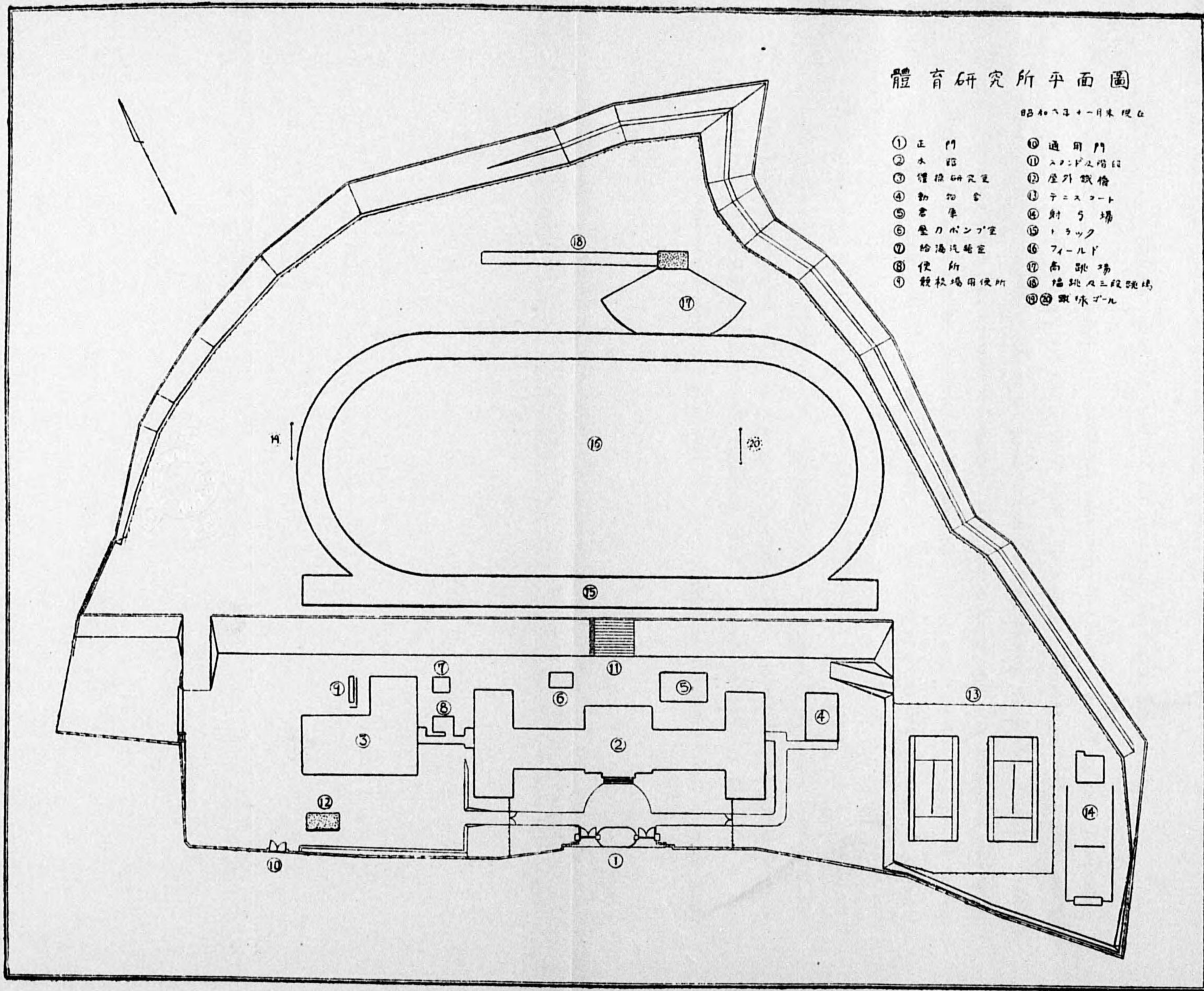
- | | |
|----------|-----------|
| ① 正門 | ⑩ 通用門 |
| ② 水塔 | ⑪ トラック |
| ③ 體育研究室 | ⑫ 屋外設備 |
| ④ 動物舎 | ⑬ テニスコート |
| ⑤ 倉庫 | ⑭ 射撃場 |
| ⑥ 電力ポンプ室 | ⑮ トラック |
| ⑦ 給湯汽室 | ⑯ フィールド |
| ⑧ 便所 | ⑰ 高跳場 |
| ⑨ 競技場用便所 | ⑱ 幅跳及三段跳場 |
| | ⑳ 蹴球ゴール |



體育研究所平面圖

昭和七年十一月末現在

- | | |
|----------|-----------|
| ① 正門 | ⑩ 通用門 |
| ② 水浴 | ⑪ スタンド及階梯 |
| ③ 體操研究室 | ⑫ 屋外設備 |
| ④ 物置倉 | ⑬ テニスコート |
| ⑤ 倉庫 | ⑭ 射弓場 |
| ⑥ 壓力ポンプ室 | ⑮ トラック |
| ⑦ 給湯汽釜室 | ⑯ フィールド |
| ⑧ 便所 | ⑰ 高跳場 |
| ⑨ 競技場用便所 | ⑱ 端跳及三段跳場 |
| | ⑳ 蹴球ゴール |



The Government Institute for Research in Physical Education.

The speedy rise of Japan in international relationship has become one of the most outstanding features of recent history ; she has attained such a high standing among the nations that she is now playing an important role in the promotion of the civilization of the world.

For many years past however the standard of our nation's physique was considered inferior to that of other great nations, consequently its improvement was urged by many circles in various parts of the country. Keenly realizing the necessity of making a fundamental research in physical education, the Department of Education started, in 1916, to investigate the possibility of the foundation of an Institute for Research in Physical Education.

During several years after that on various occasions a number of memorials concerning the establishment of such an institution had been presented to the then Premier and Minister of Education by medical and educational bodies. In 1922, a similar memorial was presented to the House of Representatives with the support of a large number of members of the Imperial Diet,

and accepted by the House in March of the same year. In this way the long-hoped-for creation of such an institution was realized.

In July, 1923, Mr. Gunshiro Mochizuki, a business man of Tokyo, contributed to the Institute a plot of land covering 30,149 sq. meters, in a suburb of Tokyo for its site, and the construction work was immediately started according to the design of the Section of Architecture in the Department of Education. The work, however, took more time than was first expected because of the great earthquakes in September, 1923, and was completed only in 1926.

The main building is a ferro-concrete two-storied one extending over 2,694.9 sq. meters, inclusive of a basement of 104.5 sq. meters. There are laboratories for anatomy, physiology, bio-chemistry, hygiene, psychology, pedagogics, and philosophy in it. Rooms for X-ray, weighing, and specimens, as well as a library, a lecture hall, the Director's room, staff rooms, conference rooms, and guest rooms, etc. are also found in the main building.

The laboratory for gymnastics stands west to the main building and is connected by a corridor. This is used for the study of gymnastics, play, etc. The gymnastics laboratory is a single-storied

house of 490.85 sp. meters which is equipped with a gymnasium, bath-rooms, lockers, gymnastic apparatus, etc. The area of the gymnasium is 284.3 sp. meters.

The official organization.

The official organization of the Institute was first established by an Imperial Ordinance issued on October 25, 1924, but it was modified by other Ordinances in 1926 and 1933, respectively.

Clause 1. The Government Institute for Research in Physical Education, under the direct supervision of the Minister of Education, shall conduct investigation, research, and instruction in physical education. (2)

Clause 2. The Institute for Research in Physical Education shall have the following officers :

Director	
Experts (full-time service)	seven in all
Clerks (full-time service)	three in all
Assistant Experts (full-time service)	seven in all

In addition to this, the Institute is authorized to have not more than nine assistant unsalaried experts.

Clause 3. The Director shall be nominated by the Minister of Education from among the experts. The Director shall administer the affairs of the Institute under the direction and supervision of the Minister of Education.

Clause 4. Experts shall have charge of the affairs of the Institute under the instructions of the Director.

Clause 5. Clerks shall attend to the management of general affairs under the direction of their superiors. Clause 6. Assistant experts shall attend to the affairs of the Institute under the direction of their superiors.

System and Staff.

A. System :

The business of the Institute shall be transacted at the following eleven departments, each having a chief with a staff under him.

- (a) The Department of General Affairs.
- (b) " " " Anatomy
- (c) " " " Physiology
- (d) " " " Chemistry
- (e) " " " Hygiene
- (f) " " " Psychology
- (g) " " " Pedagogics
- (h) " " " Gymnastics
- (i) " " " Play
- (j) " " " Athletics and Sports
- (k) " " " Medical Consultation for Sports and physical Training

B. Staff (Feb., 1934) :

Baron Takeno Yamakawa, Acting Director

Yukinobu Yoshida, Igakuhakushi, chief of the Hygiene Department

Taku Iwahara, Igakuhakushi

Buichi Otani, Chief of the Gymnastics Department

Gensaburo Noguchi, Chief of the Athletics and Sports Department

Hitoshi Sasaki, Chief of the Play Department

Michinari Ogasawara, Igakushi, Chief of the Physiology Department

Morio Yasuda, Igakuhakushi, Chief of the Chemistry Department

Mitsuo Matsui, Bungakushi, Chief of the Psychology Department

Kensaku Shiraiishi, Igakuhakushi, Member of the Department of Medical Consultation for Sports and

Physical Training

Kazuo Saito, Igakuhakushi, do.

Susumu Nagata, Bungakushi, Chief of the Pedagogics Department

Shigeru Suzuki, Igakushi, Chief of the Anatomy Department

Kazunori Yamaguchi, Chief of the Department of General Affairs

(6)

昭和九年三月二十日

體 育 研 究 所

東京市澁谷區代々木西原町

276
452

終